

本資料のうち、枠囲みの内容は、
営業秘密又は防護上の観点から
公開できません

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-913 改 6
提出年月日	平成 30 年 10 月 5 日

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 添付書類

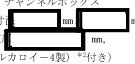



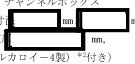



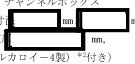



発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書

ハ項 原子炉本体の構造及び設備

抜粋資料

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>ハ 原子炉本体の構造及び設備</p> <p><u>炉心部は燃料、制御材及び支持構造物からなり、上下端が半球状の円筒形鋼製圧力容器に収容される。圧力容器の外側には、遮蔽壁がある。</u></p> <p>(1) 発電用原子炉の炉心</p> <p>(i) 構造</p> <p>a. 構造</p> <p><u>「(1)(i)-①」炉心は、多数の燃料集合体及び制御棒を正方格子に配列した円柱状の構造である。十字形の制御棒は、4体の燃料集合体によって囲まれる配置とする。</u></p>	<p>3. 原子炉及び炉心</p> <p>3.1 概要</p> <p>その5－9×9燃料が装荷されたサイクル以降</p> <p>＜中略＞</p> <p><u>原子炉は、原子炉圧力容器（以下3.では「圧力容器」という。）圧力容器内部構造物、炉心、制御棒、制御棒駆動機構等で構成される。</u></p> <p>＜中略＞</p>	<p>【原子炉本体】（基本設計方針）</p> <p>1. 炉心等</p> <p>＜中略＞</p> <p><u>炉心部は燃料体、制御棒及び支持構造物からなり、上下端が半球状の円筒形鋼製圧力容器に収容される。原子炉圧力容器の外側には、遮蔽壁を設置する。</u></p> <p>＜中略＞</p> <p>【計測制御系統施設】（基本設計方針）</p> <p>1.2 制御棒及び制御棒駆動系</p> <p>＜中略＞</p> <p><u>「(1)(i)-①」制御棒は、十字形に組み合わせたステンレス鋼製のU字型シースの中に中性子吸収材を納めたものであり、各制御棒は、4体の燃料体の中央に、炉心全体にわたって一様に配置する設計とする。</u></p> <p>制御棒の下端には制御棒落下速度リミッタを設けるとともに、制御棒の駆動は、ピストン上部又は下部に駆動水を供給することにより、原子炉圧力容器底部から行う設計とする。</p> <p>通常駆動時は、駆動水ポンプにより加圧された駆動水で駆動し、原子炉緊急停止時は、各々の制御棒駆動機構ごとに設ける水圧制御ユニットアキュムレータの高圧窒素により加圧された駆動水を供給することで制御棒を駆動する設計とする。</p> <p>＜中略＞</p>	<p>設置変更許可申請書（本文）第五号ハ項において、工事の計画の内容は、以下の通り整合している。</p> <p>工事の計画の「燃料体」は、設置変更許可申請書（本文）の「燃料」を具体的に記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の「制御棒」は、設置変更許可申請書（本文）の「制御材」を具体的に記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の「原子炉圧力容器」は、設置変更許可申請書（本文）の「圧力容器」を具体的に記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の「(1)(i)-①」は、設置変更許可申請書（本文）の「(1)(i)-①」を具体的に記載しており整合している。</p>	既許可との整合

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>また、燃料集合体は$\text{h}(1)(i)-②$炉心シュラウド、上部炉心格子、炉心支持板、燃料支持金具及び制御棒案内管で構成する炉心支持構造物で支持され、その荷重は原子炉压力容器に伝えられる。</p> <p>$\text{h}(1)(i)-③$冷却材は、燃料集合体周囲のチャンネル・ボックスが形成した冷却材流路を炉心下方から上方向に流れる。</p> <p>$\text{h}(1)(i)-④$これらの構造物は、通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において原子炉を安全に停止し、かつ炉心の冷却を確保し得る構造とする。</p> <p>b. 格子形状 C 格子</p> <p>c. 主要寸法</p> <p>$\text{h}(1)(i)-⑤$炉心等価直径 約 4.8 m</p> <p>$\text{h}(1)(i)-⑥$炉心有効高さ 約 3.7 m</p>	<p>炉心を構成する燃料集合体は、4 体を 1 組として、制御棒案内管頂部に設ける中心部燃料支持金具によって支えられる。</p> <p>制御棒案内管のないところの燃料集合体は、炉心支持板の上にある周辺部燃料支持金具によって支えられる。</p> <p><中略></p> <p>3. 原子炉及び炉心</p> <p>3.1 概要</p> <p>その 5－9×9 燃料が装荷されたサイクル以降</p> <p><中略></p> <p>炉心は、高さ約 3.7m、等価直径約 4.8m の直円柱形で、764 体の燃料集合体と 185 本の制御棒で構成する。燃料集合体は、1 体当たり 60 本の燃料棒と 1 本の太径のウォータ・ロッドで構成する集合体（以下 3. では「高燃焼度 8×8 燃料」という。）、1 体当たり 74 本の燃料棒と 2 本の太径のウォータ・ロッドで構成する集合体（以下 3. では「9×9 燃料（A 型）」という。）及び 1 体当たり 72 本の燃料棒と 1 本のウォータ・チャンネルで構成する集合体（以下 3. では「9×9 燃料（B 型）」という。）の 3 種類がある。ただし、以下 3. では特に断らない限り、9×9 燃料（A 型）と 9×9 燃料（B 型）を総称して 9×9 燃料という。</p> <p><中略></p>	<p>【原子炉本体】（基本設計方針）</p> <p>1. 炉心等</p> <p><中略></p> <p>燃料体は$\text{h}(1)(i)-②$炉心支持構造物で支持され、その荷重は原子炉压力容器に伝えられる設計とする。</p> <p><中略></p> <p>炉心支持構造物は、最高使用圧力、自重、附加荷重及び地震力に加え、熱応力の荷重に耐える設計とする。</p> <p><中略></p> <p>2. 原子炉压力容器</p> <p>2.1 原子炉压力容器本体</p> <p><中略></p> <p>$\text{h}(1)(i)-③$原子炉压力容器内の原子炉冷却材の流路は、再循環系ポンプにより、再循環水入口ノズルから原子炉压力容器内に導かれ、エントポンプによりチャンネル・ボックスが形成した原子炉冷却材の流路を炉心の下方から上方向に流れ、主蒸気ノズルから出る設計とする。</p> <p><中略></p> <p>【原子炉本体】（基本設計方針）</p> <p>1. 炉心等</p> <p><中略></p> <p>燃料体、減速材及び反射材並びに炉心支持構造物の材料は、通常運転時における原子炉運転状態に対応した圧力、温度条件、燃料使用期間中の燃焼度、中性子照射量及び水質の組み合わせのうち想定される最も厳しい条件において、耐放射線性、寸法安定性、耐熱性、核性質及び強度のうち必要な物理的性質並びに、耐食性、水素吸収特性及び化学的安定性のうち必要な化学的性質を保持し得る材料を使用する。</p> <p><中略></p> <p>$\text{h}(1)(i)-④$燃料体（燃料要素を除く。）減速材及び反射材並びに炉心支持構造物は、通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時において、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、停止後に炉心の冷却機能を維持できる設計とする。</p> <p><中略></p>	<p>工事の計画の「燃料体」は設置変更許可申請書（本文）の「燃料集合体」と同一であり整合している。以下同じ。</p> <p>工事の計画の$\text{h}(1)(i)-②$は、設置変更許可申請書（本文）の$\text{h}(1)(i)-②$の設備を総括して記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の$\text{h}(1)(i)-③$は、設置変更許可申請書（本文）の$\text{h}(1)(i)-③$を具体的に記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の$\text{h}(1)(i)-④$は、設置変更許可申請書（本文）の$\text{h}(1)(i)-④$と、文章表現は異なるが、内容に相違はないため整合している。</p> <p>工事の計画の$\text{h}(1)(i)-⑤$は、設置変更許可申請書（本文）の$\text{h}(1)(i)-⑤$を詳細に記載しており整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整 合 性	備 考																																																									
<p>（ii） 燃料体の最大挿入量</p> <p>燃料集合体の体数 764</p> <p>ハ(1)(ii)-①炉心全ウラン量</p> <p>ハ(1)(ii)-②約 142 t（8×8 燃料）</p> <p>ハ(1)(ii)-③約 133 t（新型 8×8 燃料， 新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料）</p> <p>以下特に断らない限り，新型 8×8 燃料と新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料を総称して新型 8×8 燃料とい う。</p> <p>約 131 t（高燃焼度 8×8 燃料）</p> <p>約 132 t（9×9 燃料（A 型））</p> <p>約 131 t（9×9 燃料（B 型））</p> <p>以下特に断らない限り，9×9 燃料（A 型）と 9×9 燃料（B 型）を総称して 9×9 燃料という。</p>	<p>第 3.1.-1 表 原子炉及び炉心の主要設計仕様</p> <p><中略></p> <p>全ウラン量 約 142t（8×8 燃料）</p> <p>約 133 t（新型 8×8 燃料， 新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料）</p> <p>約 131 t（高燃焼度 8×8 燃料）</p> <p>約 132 t（9×9 燃料（A 型））</p> <p>約 131 t（9×9 燃料（B 型））</p> <p><中略></p>	<p>【原子炉本体】（要目表）</p> <p>2 炉心に係る次の事項</p> <p>（1） 炉心形状（チャンネルボックスの主要寸法及び材料を付記すること。）、格子形状、燃 料集合体数、炉心有効高さ及び炉心等価直径</p> <table><tr><th colspan="2"></th><th>変 更 前</th><th>変 更 後</th></tr><tr><td rowspan="2">炉 心 形 状</td><td rowspan="2">—</td><td>円柱形（8×8 型及び 9×9 型燃料集合体形状， チャンネルボックス (断面内寸  mm, 板  mm, ジルカロイ-4 製) 2 付き)</td><td rowspan="2">変更 なし</td></tr><tr><td>C 格子</td></tr><tr><td>格 子 形 状</td><td>—</td><td>C 格子</td><td></td></tr><tr><td>燃料集合体数</td><td>—</td><td>764</td><td></td></tr><tr><td>炉心有効高さ</td><td>mm</td><td></td><td>ハ(1)(i)-⑤</td></tr><tr><td>炉心等価直径</td><td>mm</td><td></td><td></td></tr></table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>2 炉心に係る次の事項</p> <p>（2） 燃料材の種類、燃料集合体平均濃縮度又は富化度（初装荷及び取替の別に記載するこ と。）、燃料集合体最高燃焼度（初装荷及び取替の別に記載すること。）及び核燃料物質の 最大装荷量</p> <table><tr><th colspan="2"></th><th>変 更 前</th><th>変 更 後</th></tr><tr><td rowspan="2">種 類</td><td rowspan="2">—</td><td>二酸化ウラン焼結ペレット及び ガドリニア混合二酸化ウラン 焼結ペレット ジルカロイ-2（ジルコニウム内服 管被覆）</td><td rowspan="10">変更なし</td></tr><tr><td>取替燃料集合体 タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）</td><td>約 3.4</td></tr><tr><td rowspan="2">燃 料 集 合 体 平 均 濃 縮 度 又 は 富 化 度 *1</td><td rowspan="2">wt%</td><td>取替燃料集合体 タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））</td><td>約 3.7</td></tr><tr><td>取替燃料集合体 タイプ 3 （9×9 燃料（B 型））</td><td>約 3.7</td></tr><tr><td rowspan="4">燃 料 集 合 体 最 高 燃 焼 度 *2</td><td rowspan="4">MWd/t</td><td>取替燃料集合体 タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）</td><td>50000</td></tr><tr><td>取替燃料集合体 タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））</td><td>55000</td></tr><tr><td>取替燃料集合体 タイプ 3 （9×9 燃料（B 型））</td><td>55000</td></tr><tr><td>高燃焼度 8×8 燃料炉心</td><td>約 131</td></tr><tr><td rowspan="2">核 燃 料 物 質 の 最 大 装 荷 量 *3</td><td rowspan="2">MTU *4</td><td>9×9 燃料（A 型）炉心</td><td>約 132</td></tr><tr><td>9×9 燃料（B 型）炉心</td><td>約 131</td></tr></table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「初期濃縮度」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃焼率（燃焼度）」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「装荷量」と記載。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「t」と記載。</p>			変 更 前	変 更 後	炉 心 形 状	—	円柱形（8×8 型及び 9×9 型燃料集合体形状， チャンネルボックス (断面内寸  mm, 板  mm, ジルカロイ-4 製) 2 付き)	変更 なし	C 格子	格 子 形 状	—	C 格子		燃料集合体数	—	764		炉心有効高さ	mm		ハ(1)(i)-⑤	炉心等価直径	mm					変 更 前	変 更 後	種 類	—	二酸化ウラン焼結ペレット及び ガドリニア混合二酸化ウラン 焼結ペレット ジルカロイ-2（ジルコニウム内服 管被覆）	変更なし	取替燃料集合体 タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）	約 3.4	燃 料 集 合 体 平 均 濃 縮 度 又 は 富 化 度 *1	wt%	取替燃料集合体 タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））	約 3.7	取替燃料集合体 タイプ 3 （9×9 燃料（B 型））	約 3.7	燃 料 集 合 体 最 高 燃 焼 度 *2	MWd/t	取替燃料集合体 タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）	50000	取替燃料集合体 タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））	55000	取替燃料集合体 タイプ 3 （9×9 燃料（B 型））	55000	高燃焼度 8×8 燃料炉心	約 131	核 燃 料 物 質 の 最 大 装 荷 量 *3	MTU *4	9×9 燃料（A 型）炉心	約 132	9×9 燃料（B 型）炉心	約 131	<p>工事の計画のハ(1)(ii) ①は、設置変更許可 申請書（本文）のハ(1) (ii)-①と同義であり 整合している。</p> <p>設置変更許可申請書 （本文）のハ(1)(ii)- ②は、本工事計画の対 象外である。</p>	
		変 更 前	変 更 後																																																										
炉 心 形 状	—	円柱形（8×8 型及び 9×9 型燃料集合体形状， チャンネルボックス (断面内寸  mm, 板  mm, ジルカロイ-4 製) 2 付き)	変更 なし																																																										
		C 格子																																																											
格 子 形 状	—	C 格子																																																											
燃料集合体数	—	764																																																											
炉心有効高さ	mm		ハ(1)(i)-⑤																																																										
炉心等価直径	mm																																																												
		変 更 前	変 更 後																																																										
種 類	—	二酸化ウラン焼結ペレット及び ガドリニア混合二酸化ウラン 焼結ペレット ジルカロイ-2（ジルコニウム内服 管被覆）	変更なし																																																										
		取替燃料集合体 タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）		約 3.4																																																									
燃 料 集 合 体 平 均 濃 縮 度 又 は 富 化 度 *1	wt%	取替燃料集合体 タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））		約 3.7																																																									
		取替燃料集合体 タイプ 3 （9×9 燃料（B 型））		約 3.7																																																									
燃 料 集 合 体 最 高 燃 焼 度 *2	MWd/t	取替燃料集合体 タイプ 1 （高燃焼度 8×8 燃料）		50000																																																									
		取替燃料集合体 タイプ 2 （9×9 燃料（A 型））		55000																																																									
		取替燃料集合体 タイプ 3 （9×9 燃料（B 型））		55000																																																									
		高燃焼度 8×8 燃料炉心		約 131																																																									
核 燃 料 物 質 の 最 大 装 荷 量 *3	MTU *4	9×9 燃料（A 型）炉心		約 132																																																									
		9×9 燃料（B 型）炉心		約 131																																																									

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(iii) 主要な核的制限値</p> <p>「(1)(iii)-①原子炉を安全かつ安定に制御することを目的として、次のような核的制限値を設定する。」</p> <p>a. 反応度停止余裕</p> <p>「(1)(iii)a.-①最大反応度価値を有する制御棒が1本未挿入の状態であっても、他の制御棒によって常に炉心を臨界未満にできる能力を持つ設計とする。」</p>	<p>3.3 制御棒及び駆動機構</p> <p>3.3.1 制御棒</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p> <p>185本の制御棒は、第3.3-1図に示すように、それぞれ4体の燃料集合体の中央に約305mmのピッチで炉心全体にわたって一様に配置し、「14.2 核設計」に述べる炉心特性とあいまって、炉心の最大過剰反応度を十分制御できるように設計する。</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>【原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）】（基本設計方針）「共通項目」</p> <p>5. 設備に対する要求</p> <p>5.1 安全設備，設計基準対象施設及び重大事故等対処設備</p> <p>5.1.1 通常運転時の一般要求</p> <p>(1) 設計基準対象施設の機能</p> <p>設計基準対象施設は、通常運転時において発電用「(1)(iii)-①原子炉の反応度を安全かつ安定的に制御でき、かつ、運転時の異常な過渡変化時においても発電用原子炉固有の出力抑制特性を有するとともに、発電用原子炉の反応度を制御することにより、核分裂の連鎖反応を制御できる能力を有する設計とする。」</p> <p>【計測制御系統施設】（基本設計方針）</p> <p>1.2 制御棒及び制御棒駆動系</p> <p>「(1)(iii)a.-①制御棒は、最大の反応度価値を持つ制御棒1本が完全に炉心の外に引き抜かれていて、その他の制御棒が全挿入の場合、高温状態及び低温状態において常に炉心を臨界未満にできる設計とする。また、発電用原子炉運転中に、完全に挿入されている制御棒を除く、他のいずれかの制御棒が動作不能となった場合は、動作可能な制御棒のうち最大反応度価値を有する制御棒1本が完全に炉心の外に引き抜かれた状態でも、他のすべての動作可能な制御棒により、高温状態及び低温状態において炉心を臨界未満に保持できることを評価確認し、確認できない場合には、発電用原子炉を停止するように保安規定に定めて管理する。」</p> <p style="text-align: center;">＜中略＞</p>	<p>工事の計画の「(1)(iii)-①」は、設置変更許可申請書（本文）の「(1)(iii)-①」を具体的に記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の「(1)(iii)a.-①」は、設置変更許可申請書（本文）の「(1)(iii)a.-①」を具体的に記載しており整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																										
<p>b. 制御棒の最大反応度価値</p> <p>臨界近接時の制御棒の最大反応度価値はΔk (iii) b. -① 0.015Δk 以下（9×9燃料が装荷されるまでのサイクル）又はΔk (iii) b. -② 0.013Δk 以下（9×9燃料が装荷されたサイクル以降）とする。</p> <p>（本文十号）</p> <p>引抜制御棒価値は、制御棒価値ミニマイザで許容される最大反応度価値である 0.013Δk とする。</p> <p>・記載箇所</p> <p>イ (2) (ii) a. (a) b)</p> <p>ロ (2) (ii) a. (c)</p> <p>c. 減速材バイド係数及びドップラ係数</p> <p>Δk (iii) c. -① 減速材バイド係数及びドップラ係数は、負となるように設計する。</p>	<p>制御棒価値ミニマイザで許容する最大価値... (0.015 Δk (9×9燃料が装荷されるまでのサイクル) 又は 0.013 Δk (9×9燃料が装荷されたサイクル以降)) の制御棒が、何らかの原因によって、カップリングから離れ、炉心内に固着した状態から自重によって落下するような事故が起きて、落下速度を抑え、反応度の急速な投入による燃料UO_2の最大エンタルピが設計上の制限値を超えないように、制御棒ブレードの下端構造物に可動部分のない水力学的な制御棒落下速度リミッタを取り付ける。</p> <p>＜中略＞</p> <p>1. 9. 7. 1 「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成 25 年 6 月 19 日制定）」に対する適合</p> <p>第十五条 炉心等</p> <p>適合のための設計方針</p> <p>第1項について</p> <p>(1) 沸騰水型原子炉には、通常運転時に何らかの原因で出力が上昇することがあっても、炉心内の蒸気量の増大に伴う大きな負のバイド反応度効果により、出力の上昇を抑える働きがある。</p> <p>また、沸騰水型原子炉では、低濃縮ウラン燃料を用いており、これは、ドップラ効果に基づく負の反応度係数を持っている。</p> <p>＜中略＞</p>	<p>【計測制御系統施設】（要目表）</p> <p>2 制御材に係る次の事項</p> <p>(1) 制御棒の名称、種類、組成、反応度制御能力、停止余裕、最大反応度価値（制御棒グループごとに引抜く場合は、グループ及び一本の別に記載すること。）、主要寸法、個数及び落下速度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変 更 前</th> <th colspan="2">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td colspan="2">制御棒</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td colspan="2">十字形</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>組</td> <td>成^{*1}</td> <td>ポロンカーバイド粉末</td> <td>ハフニウムプラッタチューブ</td> <td colspan="2">ポロンカーバイド粉末</td> </tr> <tr> <td>反 応 度 制 御 能 力^{*2}</td> <td>Δk</td> <td colspan="2">Δk</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>停 止 余 裕</td> <td>—</td> <td colspan="2">最大反応度価値制御棒 1 本の全引抜時 臨界未満維持実効増倍率 < 1 (設計目標値Δk 以上)</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>最 大 反 応 度 価 値^{*4}</td> <td>Δk</td> <td colspan="2">Δk</td> <td colspan="2">Δk (iii) b. -②</td> </tr> <tr> <td>主 全</td> <td>長さ^{*5}</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td colspan="2">mm</td> </tr> <tr> <td>有 効 長 さ</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td colspan="2">mm</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td colspan="2">mm</td> </tr> <tr> <td>ブ レ ー ド 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td colspan="2">mm</td> </tr> <tr> <td>シ ー ス 厚 さ^{*4}</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>法 落 下 速 度 リ ミ ッ タ 外 径</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td colspan="2">185</td> <td colspan="2">185</td> </tr> <tr> <td>落 下 速 度^{*4}</td> <td>m/s</td> <td colspan="2">mm/s</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「組成／制御材」と記載。</p> <p>*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「反応度抑制効果」と記載。</p> <p>*3：過剰反応度約 0.14 Δk に対応する値を示す。</p> <p>*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「長さ」と記載。</p> <p>*6：公称値を示す。</p>			変 更 前		変 更 後		名	称	制御棒		変更なし		種	類	十字形		変更なし		組	成 ^{*1}	ポロンカーバイド粉末	ハフニウムプラッタチューブ	ポロンカーバイド粉末		反 応 度 制 御 能 力 ^{*2}	Δk	Δk		変更なし		停 止 余 裕	—	最大反応度価値制御棒 1 本の全引抜時 臨界未満維持実効増倍率 < 1 (設計目標値 Δk 以上)		変更なし		最 大 反 応 度 価 値 ^{*4}	Δk	Δk		Δk (iii) b. -②		主 全	長さ ^{*5}	mm	mm	mm		有 効 長 さ	mm	mm	mm	mm		幅	mm	mm	mm	mm		ブ レ ー ド 厚 さ	mm	mm	mm	mm		シ ー ス 厚 さ ^{*4}	mm	mm	mm	mm	mm	法 落 下 速 度 リ ミ ッ タ 外 径	mm	mm	mm	mm	mm	個 数	—	185		185		落 下 速 度 ^{*4}	m/s	mm/s		変更なし		<p>設置変更許可申請書（本文）のΔk (iii) b. -①は、本工事計画の対象外である。</p> <p>工事の計画のΔk (i) (iii) b. -②は、設置変更許可申請書（本文）のΔk (i) (iii) b. -②を詳細に記載しており整合している。</p> <p>設置変更許可申請書（本文）のΔk (i) (iii) c. -①は、本工事計画の対象外である。</p>	
		変 更 前		変 更 後																																																																																										
名	称	制御棒		変更なし																																																																																										
種	類	十字形		変更なし																																																																																										
組	成 ^{*1}	ポロンカーバイド粉末	ハフニウムプラッタチューブ	ポロンカーバイド粉末																																																																																										
反 応 度 制 御 能 力 ^{*2}	Δk	Δk		変更なし																																																																																										
停 止 余 裕	—	最大反応度価値制御棒 1 本の全引抜時 臨界未満維持実効増倍率 < 1 (設計目標値 Δk 以上)		変更なし																																																																																										
最 大 反 応 度 価 値 ^{*4}	Δk	Δk		Δk (iii) b. -②																																																																																										
主 全	長さ ^{*5}	mm	mm	mm																																																																																										
有 効 長 さ	mm	mm	mm	mm																																																																																										
幅	mm	mm	mm	mm																																																																																										
ブ レ ー ド 厚 さ	mm	mm	mm	mm																																																																																										
シ ー ス 厚 さ ^{*4}	mm	mm	mm	mm	mm																																																																																									
法 落 下 速 度 リ ミ ッ タ 外 径	mm	mm	mm	mm	mm																																																																																									
個 数	—	185		185																																																																																										
落 下 速 度 ^{*4}	m/s	mm/s		変更なし																																																																																										
<p>（本文十号）</p> <p>減速材バイド係数</p> <p>バイドが減少する事象</p> <p>9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合以外は、9×9燃料（A型）取替炉心の平衡サイクル末期時点の値の 1.25 倍の値を用いる。</p> <p>9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合は、9×9燃料（B型）取替炉心の平衡サイクル末期時点の値の 1.25 倍の値を用いる。</p> <p>バイドが増加する事象</p> <p>9×9燃料（B型）取替炉心の平衡サイクル初期時点の値の 0.9 倍の値を用いる。</p> <p>・記載箇所</p> <p>イ (2) (i) d. (c)</p> <p>ロ (2) (i) b. (f)</p> <p>ロ (2) (i) c. (f)</p>	<p>（本文十号）</p> <p>ドップラ係数</p> <p>バイドが減少する事象</p> <p>9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合以外は、9×9燃料（A型）取替炉心の平衡サイクル末期時点の値の 0.9 倍の値を用いる。</p> <p>9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合は、9×9燃料（B型）取替炉心の平衡サイクル末期時点の値の 0.9 倍の値を用いる。</p> <p>バイドが増加する事象</p> <p>9×9燃料（B型）取替炉心の平衡サイクル末期時点の値の 0.9 倍の値を用いる。</p> <p>・記載箇所</p> <p>イ (2) (i) d. (c)</p> <p>ロ (2) (i) b. (f)</p> <p>ロ (2) (i) c. (f)</p>																																																																																													
<p>（本文十号）</p> <p>ドップラ係数は、平衡サイクルの値を用いる。</p> <p>・記載箇所</p> <p>ロ (2) (ii) a. (g)</p>																																																																																														

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(iv) 主要な熱的制限値</p> <p>ハ(1)(iv)-①通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に、安全保護系の作動等とあいまって、燃料被覆管の過熱及び過度の歪を生じさせないことを目的として、次のような通常運転時の熱的制限値を設定する。</p> <p>a. 最小限界出力比 <u>ハ(1)(iv)a.-①</u></p> <p>(a) 9×9燃料が装荷されたサイクル以降</p> <p>i) サイクル初期から、サイクル末期よりさかのぼって炉心平均燃焼度で2,000MWd/t 手前までの期間</p> <p>高燃焼度8×8燃料 1.24</p> <p>9×9燃料（A型） 1.24</p> <p>9×9燃料（B型） 1.23</p> <p>ii) 上記 i) 以外の期間</p> <p>高燃焼度8×8燃料 1.32</p> <p>9×9燃料（A型） 1.35</p> <p>9×9燃料（B型）</p> <p>9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合 1.27</p> <p>9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合以外 1.33</p>	<p>第2項について</p> <p>(1) 燃料の健全性を確保するため、熱水力設計上の燃料要素の許容損傷限界を定め、運転時の異常な過渡変化時において、この限界値を満足するように通常運転時の熱的制限値を定める。</p> <p>＜中略＞</p> <p>i) サイクル初期から、サイクル末期よりさかのぼって炉心平均燃焼度で2,000MWd/t 手前までの期間</p> <p>高燃焼度8×8燃料 1.24</p> <p>9×9燃料（A型） 1.24</p> <p>9×9燃料（B型） 1.23</p> <p>ii) 上記 i) 以外の期間</p> <p>高燃焼度8×8燃料 1.32</p> <p>9×9燃料（A型） 1.35</p> <p>9×9燃料（B型）</p> <p>9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合 1.27</p> <p>9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合以外 1.33</p> <p>＜中略＞</p>	<p>【原子炉本体】（基本設計方針）</p> <p>1. 炉心等</p> <p>＜中略＞</p> <p>炉心は、<u>ハ(1)(iv)-①通常運転時又は運転時の異常な過渡変化時に発電用原子炉の運転に支障が生ずる場合において、原子炉冷却系統、原子炉停止系統、反応度制御系統、計測制御系統及び安全保護回路（安全保護系）の機能と併せて機能することにより燃料要素の許容損傷限界を超えない設計とする。</u></p> <p>＜中略＞</p> <p>【原子炉本体】（基本設計方針）</p> <p>1. 炉心等</p> <p><u>ハ(1)(iv)a.-①燃料体（燃料要素及びその他の部品を含む。）は、設置（変更）許可を受けた仕様となる構造及び設計とする。</u></p> <p>＜中略＞</p>	<p>工事の計画の <u>ハ(1)(iv)-①</u> は、設置変更許可申請書（本文）の <u>ハ(1)(iv)-①</u> と、文章表現は異なるが、内容に相違はないため整合している。</p> <p>設置変更許可申請書（本文）の <u>ハ(1)(iv)a.-①</u> は、工事の計画において設置許可を受けた仕様となる構造及び設計としており整合している。</p>	
<p>（本文十号）</p> <p>サイクル早期炉心用スクラム反応度曲線を用いた場合</p> <p>高燃焼度8×8燃料 1.24</p> <p>9×9燃料（A型） 1.24</p> <p>9×9燃料（B型） 1.23</p> <p>サイクル末期炉心用スクラム反応度曲線を用いた場合</p> <p>高燃焼度8×8燃料 1.32</p> <p>9×9燃料（A型） 1.35</p> <p>9×9燃料（B型）</p> <p>（9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合） 1.27</p> <p>（9×9燃料（B型）のみが装荷されている場合以外） 1.33</p> <p>・記載箇所</p> <p>イ(2)(i)a.</p> <p>イ(2)(ii)a.(b)a)</p> <p>ロ(2)(i)b.(b)</p> <p>ロ(2)(i)c.(b)</p> <p>ハ(2)(ii)a.(b)(b-1)(b-1-1)(b-1-1-2)</p>				

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合 性	備 考																																																																																																																																																			
<div>b. 燃料棒最大線出力密度...44.0 kW／m² ハ(1)(iv)b. -①</div> <div><div>(本文十号)</div><div>燃料棒の最大線出力密度は 44.0kW／m を用いる。</div><div>・記載箇所</div><div>イ(2)(i)a.</div><div>イ(2)(ii)a.(b)a)</div><div>ロ(2)(i)b.(c)</div><div>ロ(2)(i)c.(c)</div><div>ハ(2)(ii)a.(b)(b-1)(b-1-1)(b-1-1-1)</div><div>ハ(2)(ii)a.(b)(b-1)(b-1-1)(b-1-1-2)</div></div>	<div>第 3.2-1 表 燃料設計仕様概要</div> <table><tr><th></th><th>8×8 燃料</th><th>新型 8×8 燃料</th><th>新型 8×8 ジルコニウムイナ燃料</th><th>高 燃 焼 度 8×8 燃料</th><th>9×9 燃料 (A 型)</th><th>9×9 燃料 (B 型)</th></tr><tr><td>ペレット直径</td><td>約 1.03cm</td><td>約 1.03cm</td><td>約 1.03cm</td><td>約 1.04cm</td><td>約 0.96cm</td><td>約 0.96cm</td></tr><tr><td>ペレット長さ</td><td>約 1.1cm</td><td>約 1.0cm</td><td>約 1.0cm</td><td>約 1.0cm</td><td>約 1.0cm</td><td>約 1.0cm</td></tr><tr><td>ペレット密度</td><td>理論密度の約 95%</td><td>理論密度の約 95%</td><td>理論密度の約 95%</td><td>理論密度の約 97%</td><td>理論密度の約 97%</td><td>理論密度の約 97%</td></tr><tr><td>ペレット材</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td></tr><tr><td>被覆管外径</td><td>約 1.23cm</td><td>約 1.23cm</td><td>約 1.23cm</td><td>約 1.23cm</td><td>約 1.12cm</td><td>約 1.10cm</td></tr><tr><td>被覆管厚さ</td><td>約 0.88mm</td><td>約 0.88mm</td><td>約 0.88mm</td><td>約 0.88mm</td><td>約 0.71mm</td><td>約 0.70mm</td></tr><tr><td>被覆管材料</td><td>ジルカローイ-2</td><td>ジルカローイ-2</td><td>ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)</td><td>ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)</td><td>ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)</td><td>ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)</td></tr><tr><td>燃料集合体全長 (つかみ部分を含む)</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td></tr><tr><td>燃料棒有効長さ</td><td>約 3.71m</td><td>約 3.71m</td><td>約 3.71m</td><td>約 3.71m</td><td>標準燃料棒 約 3.71m 部分長燃料棒 約 2.36m</td><td>約 3.71m</td></tr><tr><td>ペレット～被覆管間隙</td><td>約 0.23mm</td><td>約 0.24mm</td><td>約 0.24mm</td><td>約 0.20mm</td><td>約 0.20mm</td><td>約 0.20mm</td></tr><tr><td>プレナム体積比</td><td>約 0.1</td><td>約 0.1</td><td>約 0.1</td><td>約 0.1</td><td>標準燃料棒 約 0.1 部分長燃料棒 約 0.2</td><td>約 0.1</td></tr><tr><td>ウラン濃縮度</td><td>初級燃料集合体平均 約 2.2wt% 改修燃料集合体平均 約 2.7wt%</td><td>—</td><td>約 2.0wt%</td><td>約 2.4wt%</td><td>約 2.7wt%</td><td>約 2.7wt%</td></tr><tr><td>燃 焼 度</td><td>初級燃料集合体平均 約 21,000MWd/t 改修燃料集合体平均 約 27,500MWd/t 燃料集合体最高 40,000MWd/t</td><td>—</td><td>約 23,000MWd/t</td><td>約 29,500MWd/t</td><td>約 45,000MWd/t</td><td>約 45,000MWd/t</td></tr><tr><td>最大線出力密度</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td></tr><tr><td>ペレット最高温度 (設計線出力密度)</td><td>約 1,830℃ (UO₂)</td><td>約 1,850℃ (UO₂)</td><td>約 1,850℃ (UO₂)</td><td>約 1,590℃ (UO₂) 約 1,740℃ (4.5wt%Gd₂O₃入り)</td><td>約 1,550℃ (UO₂) 約 1,650℃ (5.0wt%Gd₂O₃入り)</td><td>約 1,550℃ (UO₂) 約 1,640℃ (5.0wt%Gd₂O₃入り)</td></tr><tr><td>被覆管外面最高温度</td><td>約 380℃</td><td>約 390℃</td><td>約 390℃</td><td>約 310℃</td><td>約 310℃</td><td>約 340℃</td></tr><tr><td>ヘリウム封入圧</td><td>大気圧</td><td>約 0.3MPa</td><td>約 0.3MPa</td><td>約 0.3MPa</td><td>約 1.0MPa</td><td>約 1.0MPa</td></tr><tr><td>Gd₂O₃濃度</td><td>5wt%以下</td><td>6wt%以下</td><td>6wt%以下</td><td>5.5wt%以下</td><td>2～5wt%程度</td><td>2～5wt%程度</td></tr><tr><td>7y-チタニウム径</td><td>約 1.23cm</td><td>約 1.10cm</td><td>約 1.10cm</td><td>約 3.40cm</td><td>約 2.60cm</td><td>—</td></tr><tr><td>7y-チタニウム厚</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>約 3.85cm</td></tr></table>		8×8 燃料	新型 8×8 燃料	新型 8×8 ジルコニウムイナ燃料	高 燃 焼 度 8×8 燃料	9×9 燃料 (A 型)	9×9 燃料 (B 型)	ペレット直径	約 1.03cm	約 1.03cm	約 1.03cm	約 1.04cm	約 0.96cm	約 0.96cm	ペレット長さ	約 1.1cm	約 1.0cm	約 1.0cm	約 1.0cm	約 1.0cm	約 1.0cm	ペレット密度	理論密度の約 95%	理論密度の約 95%	理論密度の約 95%	理論密度の約 97%	理論密度の約 97%	理論密度の約 97%	ペレット材	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	被覆管外径	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.12cm	約 1.10cm	被覆管厚さ	約 0.88mm	約 0.88mm	約 0.88mm	約 0.88mm	約 0.71mm	約 0.70mm	被覆管材料	ジルカローイ-2	ジルカローイ-2	ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)	ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)	ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)	ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)	燃料集合体全長 (つかみ部分を含む)	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	燃料棒有効長さ	約 3.71m	約 3.71m	約 3.71m	約 3.71m	標準燃料棒 約 3.71m 部分長燃料棒 約 2.36m	約 3.71m	ペレット～被覆管間隙	約 0.23mm	約 0.24mm	約 0.24mm	約 0.20mm	約 0.20mm	約 0.20mm	プレナム体積比	約 0.1	約 0.1	約 0.1	約 0.1	標準燃料棒 約 0.1 部分長燃料棒 約 0.2	約 0.1	ウラン濃縮度	初級燃料集合体平均 約 2.2wt% 改修燃料集合体平均 約 2.7wt%	—	約 2.0wt%	約 2.4wt%	約 2.7wt%	約 2.7wt%	燃 焼 度	初級燃料集合体平均 約 21,000MWd/t 改修燃料集合体平均 約 27,500MWd/t 燃料集合体最高 40,000MWd/t	—	約 23,000MWd/t	約 29,500MWd/t	約 45,000MWd/t	約 45,000MWd/t	最大線出力密度	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	ペレット最高温度 (設計線出力密度)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,850℃ (UO ₂)	約 1,850℃ (UO ₂)	約 1,590℃ (UO ₂) 約 1,740℃ (4.5wt%Gd ₂ O ₃ 入り)	約 1,550℃ (UO ₂) 約 1,650℃ (5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入り)	約 1,550℃ (UO ₂) 約 1,640℃ (5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入り)	被覆管外面最高温度	約 380℃	約 390℃	約 390℃	約 310℃	約 310℃	約 340℃	ヘリウム封入圧	大気圧	約 0.3MPa	約 0.3MPa	約 0.3MPa	約 1.0MPa	約 1.0MPa	Gd ₂ O ₃ 濃度	5wt%以下	6wt%以下	6wt%以下	5.5wt%以下	2～5wt%程度	2～5wt%程度	7y-チタニウム径	約 1.23cm	約 1.10cm	約 1.10cm	約 3.40cm	約 2.60cm	—	7y-チタニウム厚	—	—	—	—	—	約 3.85cm	<div>【原子炉本体】（基本設計方針）</div> <div>1. 炉心等</div> <div>ハ(1)(iv)b. -①燃料体（燃料要素及びその他の部品を含む。）は、設置（変更）許可を受けた仕様となる構造及び設計とする。</div> <div>< 中略 ></div>	<div>設置変更許可申請書（本文）のハ(1)(iv)b. -①は、工事の計画において設置許可を受けた仕様となる構造及び設計としており整合している。</div>	
	8×8 燃料	新型 8×8 燃料	新型 8×8 ジルコニウムイナ燃料	高 燃 焼 度 8×8 燃料	9×9 燃料 (A 型)	9×9 燃料 (B 型)																																																																																																																																																	
ペレット直径	約 1.03cm	約 1.03cm	約 1.03cm	約 1.04cm	約 0.96cm	約 0.96cm																																																																																																																																																	
ペレット長さ	約 1.1cm	約 1.0cm	約 1.0cm	約 1.0cm	約 1.0cm	約 1.0cm																																																																																																																																																	
ペレット密度	理論密度の約 95%	理論密度の約 95%	理論密度の約 95%	理論密度の約 97%	理論密度の約 97%	理論密度の約 97%																																																																																																																																																	
ペレット材	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃																																																																																																																																																	
被覆管外径	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.12cm	約 1.10cm																																																																																																																																																	
被覆管厚さ	約 0.88mm	約 0.88mm	約 0.88mm	約 0.88mm	約 0.71mm	約 0.70mm																																																																																																																																																	
被覆管材料	ジルカローイ-2	ジルカローイ-2	ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)	ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)	ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)	ジルカローイ-2 (うち 7/822cm 内径約 0.1mm)																																																																																																																																																	
燃料集合体全長 (つかみ部分を含む)	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m																																																																																																																																																	
燃料棒有効長さ	約 3.71m	約 3.71m	約 3.71m	約 3.71m	標準燃料棒 約 3.71m 部分長燃料棒 約 2.36m	約 3.71m																																																																																																																																																	
ペレット～被覆管間隙	約 0.23mm	約 0.24mm	約 0.24mm	約 0.20mm	約 0.20mm	約 0.20mm																																																																																																																																																	
プレナム体積比	約 0.1	約 0.1	約 0.1	約 0.1	標準燃料棒 約 0.1 部分長燃料棒 約 0.2	約 0.1																																																																																																																																																	
ウラン濃縮度	初級燃料集合体平均 約 2.2wt% 改修燃料集合体平均 約 2.7wt%	—	約 2.0wt%	約 2.4wt%	約 2.7wt%	約 2.7wt%																																																																																																																																																	
燃 焼 度	初級燃料集合体平均 約 21,000MWd/t 改修燃料集合体平均 約 27,500MWd/t 燃料集合体最高 40,000MWd/t	—	約 23,000MWd/t	約 29,500MWd/t	約 45,000MWd/t	約 45,000MWd/t																																																																																																																																																	
最大線出力密度	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²																																																																																																																																																	
ペレット最高温度 (設計線出力密度)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,850℃ (UO ₂)	約 1,850℃ (UO ₂)	約 1,590℃ (UO ₂) 約 1,740℃ (4.5wt%Gd ₂ O ₃ 入り)	約 1,550℃ (UO ₂) 約 1,650℃ (5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入り)	約 1,550℃ (UO ₂) 約 1,640℃ (5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入り)																																																																																																																																																	
被覆管外面最高温度	約 380℃	約 390℃	約 390℃	約 310℃	約 310℃	約 340℃																																																																																																																																																	
ヘリウム封入圧	大気圧	約 0.3MPa	約 0.3MPa	約 0.3MPa	約 1.0MPa	約 1.0MPa																																																																																																																																																	
Gd ₂ O ₃ 濃度	5wt%以下	6wt%以下	6wt%以下	5.5wt%以下	2～5wt%程度	2～5wt%程度																																																																																																																																																	
7y-チタニウム径	約 1.23cm	約 1.10cm	約 1.10cm	約 3.40cm	約 2.60cm	—																																																																																																																																																	
7y-チタニウム厚	—	—	—	—	—	約 3.85cm																																																																																																																																																	

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合 性	備 考																																																																																																																																																																																																															
<div>(2) 燃料体</div> <div>(i) 燃料材の種類</div> <div>ハ(2)(i)-①二酸化ウラン焼結ペレット（一部ガドリニアを含む。）</div> <div>ハ(2)(i)-②ウラン 235 濃縮度</div> <div>初装荷燃料集合体平均濃縮度 約 2.2wt%</div> <div>取替燃料集合体平均濃縮度</div> <div>ハ(2)(i)-②8×8燃料 約 2.7wt%</div> <div>ハ(2)(i)-②新型 8×8燃料 約 2.9wt%</div> <div>ハ(2)(i)-②新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料</div> <div>約 3.0wt%</div> <div>高燃焼度 8×8燃料 約 3.4wt%</div> <div>9×9燃料 約 3.7wt%</div> <div>ハ(2)(i)-③ペレットの初期密度</div> <div>ハ(2)(i)-②8×8燃料 理論密度の約 95%</div> <div>ハ(2)(i)-②新型 8×8燃料 理論密度の約 95%</div> <div>ハ(2)(i)-③高燃焼度 8×8燃料 理論密度の約 97%</div> <div>ハ(2)(i)-③9×9燃料 理論密度の約 97%</div> <div>(ii) 燃料被覆材の種類</div> <div>ハ(2)(ii)-①8×8燃料 ジルカロイ 2</div> <div>ハ(2)(ii)-①新型 8×8燃料 ジルカロイ 2</div> <div>ハ(2)(ii)-①新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料</div> <div>ジルカロイ 2</div> <div>(ジルコニウム内張)</div> <div>高燃焼度 8×8燃料 ジルカロイ 2</div> <div>(ジルコニウム内張)</div> <div>9×9燃料 ジルカロイ 2</div> <div>(ジルコニウム内張)</div>	<div>第 3.2-1 表 燃料設計仕様概要</div> <table><tr><th></th><th>8×8燃料</th><th>新型 8×8燃料</th><th>新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料</th><th>高 燃 焼 度 8×8燃料</th><th>9×9燃料 (A型)</th><th>9×9燃料 (B型)</th></tr><tr><td>ペレット直径</td><td>約 1.05cm</td><td>約 1.03cm</td><td>約 1.03cm</td><td>約 1.04cm</td><td>約 0.96cm</td><td>約 0.96cm</td></tr><tr><td>ペレット高さ</td><td>約 1.1 cm</td><td>約 1.0 cm</td><td>約 1.0 cm</td><td>約 1.0 cm</td><td>約 1.0 cm</td><td>約 1.0 cm</td></tr><tr><td>ペレット密度</td><td>理論密度の約 95%</td><td>理論密度の約 95%</td><td>理論密度の約 95%</td><td>理論密度の約 97%</td><td>理論密度の約 97%</td><td>理論密度の約 97%</td></tr><tr><td>ペレット材</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td></tr><tr><td>被覆管外径</td><td>約 1.25cm</td><td>約 1.23cm</td><td>約 1.23cm</td><td>約 1.23cm</td><td>約 1.12cm</td><td>約 1.10cm</td></tr><tr><td>被覆管厚さ</td><td>約 0.86mm</td><td>約 0.86mm</td><td>約 0.86mm</td><td>約 0.86mm</td><td>約 0.76mm</td><td>約 0.76mm</td></tr><tr><td>被覆管材料</td><td>ジルカロイ-2</td><td>ジルカロイ-2</td><td>ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)</td><td>ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)</td><td>ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)</td><td>ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)</td></tr><tr><td>燃料集合体全長 (つかみ部分を含む)</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td><td>約 4.47m</td></tr><tr><td>燃料棒有効長さ</td><td>約 3.71m</td><td>約 3.71m</td><td>約 3.71m</td><td>約 3.71m</td><td>標準燃料棒 約 3.71m 部分長燃料棒 約 3.16m</td><td>約 3.71m</td></tr><tr><td>ペレット-被覆管間隙</td><td>約 0.24mm</td><td>約 0.24mm</td><td>約 0.24mm</td><td>約 0.24mm</td><td>約 0.20mm</td><td>約 0.20mm</td></tr><tr><td>プレナム体積比</td><td>約 0.1</td><td>約 0.1</td><td>約 0.1</td><td>約 0.1</td><td>標準燃料棒 約 0.1 部分長燃料棒 約 0.2</td><td>約 0.1</td></tr><tr><td>ウラン濃縮度</td><td>初装荷燃料集合体平均 約 2.2wt%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>取替燃料集合体平均 約 2.7wt%</td><td>約 2.9wt%</td><td>約 3.0wt%</td><td>約 3.4wt%</td><td>約 3.7wt%</td><td>約 3.7wt%</td></tr><tr><td>燃 焼 度</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>初装荷燃料集合体平均</td><td>約 21,000MW/t</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>取替燃料集合体平均</td><td>約 27,500MW/t</td><td>約 28,500MW/t</td><td>約 33,000MW/t</td><td>約 39,000MW/t</td><td>約 45,000MW/t</td><td>約 45,000MW/t</td></tr><tr><td>燃料集合体最高</td><td>45,000MW/t</td><td>45,000MW/t</td><td>45,000MW/t</td><td>45,000MW/t</td><td>55,000MW/t</td><td>55,000MW/t</td></tr><tr><td>最大出力密度</td><td>44,000W/m</td><td>44,000W/m</td><td>44,000W/m</td><td>44,000W/m</td><td>44,000W/m</td><td>44,000W/m</td></tr><tr><td>ペレット最高温度 (設計値出力密度)</td><td>約 1,830℃ (UO₂)</td><td>約 1,830℃ (UO₂)</td><td>約 1,830℃ (UO₂)</td><td>約 1,830℃ (UO₂)</td><td>約 1,550℃ (UO₂) 約 1,740℃ (4.2wt%Gd₂O₃入)</td><td>約 1,550℃ (UO₂) 約 1,410℃ (5.0wt%Gd₂O₃入)</td></tr><tr><td>被覆管外周最高温度</td><td>約 330℃</td><td>約 330℃</td><td>約 330℃</td><td>約 310℃</td><td>約 310℃</td><td>約 340℃</td></tr><tr><td>ヘリウム封入圧</td><td>大気圧</td><td>約 0.3MPa</td><td>約 0.3MPa</td><td>約 0.3MPa</td><td>約 1.0MPa</td><td>約 1.0MPa</td></tr><tr><td>Gd₂O₃濃度</td><td>5wt%以下</td><td>6wt%以下</td><td>6wt%以下</td><td>5.5wt%以下</td><td>2～5wt%程度</td><td>2～5wt%程度</td></tr><tr><td>燃料棒外径</td><td>約 1.25cm</td><td>約 1.10cm</td><td>約 1.10cm</td><td>約 1.10cm</td><td>約 2.48cm</td><td>—</td></tr><tr><td>燃料棒内径</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>約 2.85cm</td></tr></table>		8×8燃料	新型 8×8燃料	新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料	高 燃 焼 度 8×8燃料	9×9燃料 (A型)	9×9燃料 (B型)	ペレット直径	約 1.05cm	約 1.03cm	約 1.03cm	約 1.04cm	約 0.96cm	約 0.96cm	ペレット高さ	約 1.1 cm	約 1.0 cm	約 1.0 cm	約 1.0 cm	約 1.0 cm	約 1.0 cm	ペレット密度	理論密度の約 95%	理論密度の約 95%	理論密度の約 95%	理論密度の約 97%	理論密度の約 97%	理論密度の約 97%	ペレット材	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	被覆管外径	約 1.25cm	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.12cm	約 1.10cm	被覆管厚さ	約 0.86mm	約 0.86mm	約 0.86mm	約 0.86mm	約 0.76mm	約 0.76mm	被覆管材料	ジルカロイ-2	ジルカロイ-2	ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)	ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)	ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)	ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)	燃料集合体全長 (つかみ部分を含む)	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	燃料棒有効長さ	約 3.71m	約 3.71m	約 3.71m	約 3.71m	標準燃料棒 約 3.71m 部分長燃料棒 約 3.16m	約 3.71m	ペレット-被覆管間隙	約 0.24mm	約 0.24mm	約 0.24mm	約 0.24mm	約 0.20mm	約 0.20mm	プレナム体積比	約 0.1	約 0.1	約 0.1	約 0.1	標準燃料棒 約 0.1 部分長燃料棒 約 0.2	約 0.1	ウラン濃縮度	初装荷燃料集合体平均 約 2.2wt%	—	—	—	—	—		取替燃料集合体平均 約 2.7wt%	約 2.9wt%	約 3.0wt%	約 3.4wt%	約 3.7wt%	約 3.7wt%	燃 焼 度	—	—	—	—	—	—	初装荷燃料集合体平均	約 21,000MW/t	—	—	—	—	—	取替燃料集合体平均	約 27,500MW/t	約 28,500MW/t	約 33,000MW/t	約 39,000MW/t	約 45,000MW/t	約 45,000MW/t	燃料集合体最高	45,000MW/t	45,000MW/t	45,000MW/t	45,000MW/t	55,000MW/t	55,000MW/t	最大出力密度	44,000W/m	44,000W/m	44,000W/m	44,000W/m	44,000W/m	44,000W/m	ペレット最高温度 (設計値出力密度)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,550℃ (UO ₂) 約 1,740℃ (4.2wt%Gd ₂ O ₃ 入)	約 1,550℃ (UO ₂) 約 1,410℃ (5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入)	被覆管外周最高温度	約 330℃	約 330℃	約 330℃	約 310℃	約 310℃	約 340℃	ヘリウム封入圧	大気圧	約 0.3MPa	約 0.3MPa	約 0.3MPa	約 1.0MPa	約 1.0MPa	Gd ₂ O ₃ 濃度	5wt%以下	6wt%以下	6wt%以下	5.5wt%以下	2～5wt%程度	2～5wt%程度	燃料棒外径	約 1.25cm	約 1.10cm	約 1.10cm	約 1.10cm	約 2.48cm	—	燃料棒内径	—	—	—	—	—	約 2.85cm	<div>【原子炉本体】（要目表）</div> <div>2 炉心に係る次の事項</div> <div>(2) 燃料材の種類、燃料集合体平均濃縮度又は富化度（初装荷及び取替の別に記載すること。）、燃料集合体最高燃焼度（初装荷及び取替の別に記載すること。）及び核燃料物質の最大装荷量</div> <table><tr><th colspan="2"></th><th>変 更 前</th><th>変 更 後</th></tr><tr><th rowspan="2">種 類</th><th rowspan="2">—</th><td>二酸化ウラン焼結ペレット及び、ガドリニアを含む焼結ペレット、 ジルカロイ-2（ジルコニウム内張） 管被覆</td><td>ハ(2)(i)-①</td></tr><tr><td>取替燃料集合体 タイプ 1 (高燃焼度 8×8 燃料)</td><td>約 3.4</td></tr><tr><th rowspan="2">燃 料 集 合 体 平 均 濃 縮 度 又 は 富 化 度 *1</th><th rowspan="2">取 替 燃 料 wt%</th><td>取替燃料集合体 タイプ 2 (9×9 燃料 (A 型))</td><td>約 3.7</td></tr><tr><td>取替燃料集合体 タイプ 3 (9×9 燃料 (B 型))</td><td>約 3.7</td></tr><tr><th rowspan="3">燃 料 集 合 体 最 高 燃 焼 度 *2</th><th rowspan="3">取 替 燃 料 MW/t</th><td>取替燃料集合体 タイプ 1 (高燃焼度 8×8 燃料)</td><td>50000</td></tr><tr><td>取替燃料集合体 タイプ 2 (9×9 燃料 (A 型))</td><td>55000</td></tr><tr><td>取替燃料集合体 タイプ 3 (9×9 燃料 (B 型))</td><td>55000</td></tr><tr><th rowspan="3">核 燃 料 物 質 の 最 大 装 荷 量 *3</th><th rowspan="3">MTU *4</th><td>高燃焼度 8×8 燃料炉心</td><td>約 131</td></tr><tr><td>9×9 燃料 (A 型) 炉心</td><td>約 132</td></tr><tr><td>9×9 燃料 (B 型) 炉心</td><td>約 131</td></tr></table> <div>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「初期濃縮度」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃焼率（燃焼度）」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「装荷量」と記載。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「t」と記載。</div>			変 更 前	変 更 後	種 類	—	二酸化ウラン焼結ペレット及び、ガドリニアを含む焼結ペレット、 ジルカロイ-2（ジルコニウム内張） 管被覆	ハ(2)(i)-①	取替燃料集合体 タイプ 1 (高燃焼度 8×8 燃料)	約 3.4	燃 料 集 合 体 平 均 濃 縮 度 又 は 富 化 度 *1	取 替 燃 料 wt%	取替燃料集合体 タイプ 2 (9×9 燃料 (A 型))	約 3.7	取替燃料集合体 タイプ 3 (9×9 燃料 (B 型))	約 3.7	燃 料 集 合 体 最 高 燃 焼 度 *2	取 替 燃 料 MW/t	取替燃料集合体 タイプ 1 (高燃焼度 8×8 燃料)	50000	取替燃料集合体 タイプ 2 (9×9 燃料 (A 型))	55000	取替燃料集合体 タイプ 3 (9×9 燃料 (B 型))	55000	核 燃 料 物 質 の 最 大 装 荷 量 *3	MTU *4	高燃焼度 8×8 燃料炉心	約 131	9×9 燃料 (A 型) 炉心	約 132	9×9 燃料 (B 型) 炉心	約 131	<div>工事の計画のハ(2)(i) ①は、設置変更許可申請書（本文）のハ(2)(i)-①と同義であり整合している。</div> <div>設置変更許可申請書（本文）のハ(2)(i)-②は、本工事計画の対象外である。</div> <div>設置変更許可申請書（本文）のハ(2)(i)-③は、工事の計画において設置許可を受けた仕様となる構造及び設計としており整合している。</div> <div>設置変更許可申請書（本文）のハ(2)(ii)-①は、本工事計画の対象外である。</div>	
	8×8燃料	新型 8×8燃料	新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料	高 燃 焼 度 8×8燃料	9×9燃料 (A型)	9×9燃料 (B型)																																																																																																																																																																																																													
ペレット直径	約 1.05cm	約 1.03cm	約 1.03cm	約 1.04cm	約 0.96cm	約 0.96cm																																																																																																																																																																																																													
ペレット高さ	約 1.1 cm	約 1.0 cm	約 1.0 cm	約 1.0 cm	約 1.0 cm	約 1.0 cm																																																																																																																																																																																																													
ペレット密度	理論密度の約 95%	理論密度の約 95%	理論密度の約 95%	理論密度の約 97%	理論密度の約 97%	理論密度の約 97%																																																																																																																																																																																																													
ペレット材	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃																																																																																																																																																																																																													
被覆管外径	約 1.25cm	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.23cm	約 1.12cm	約 1.10cm																																																																																																																																																																																																													
被覆管厚さ	約 0.86mm	約 0.86mm	約 0.86mm	約 0.86mm	約 0.76mm	約 0.76mm																																																																																																																																																																																																													
被覆管材料	ジルカロイ-2	ジルカロイ-2	ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)	ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)	ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)	ジルカロイ-2 (うち/ 8255内張約 0.1mm)																																																																																																																																																																																																													
燃料集合体全長 (つかみ部分を含む)	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m	約 4.47m																																																																																																																																																																																																													
燃料棒有効長さ	約 3.71m	約 3.71m	約 3.71m	約 3.71m	標準燃料棒 約 3.71m 部分長燃料棒 約 3.16m	約 3.71m																																																																																																																																																																																																													
ペレット-被覆管間隙	約 0.24mm	約 0.24mm	約 0.24mm	約 0.24mm	約 0.20mm	約 0.20mm																																																																																																																																																																																																													
プレナム体積比	約 0.1	約 0.1	約 0.1	約 0.1	標準燃料棒 約 0.1 部分長燃料棒 約 0.2	約 0.1																																																																																																																																																																																																													
ウラン濃縮度	初装荷燃料集合体平均 約 2.2wt%	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																													
	取替燃料集合体平均 約 2.7wt%	約 2.9wt%	約 3.0wt%	約 3.4wt%	約 3.7wt%	約 3.7wt%																																																																																																																																																																																																													
燃 焼 度	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																													
初装荷燃料集合体平均	約 21,000MW/t	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																													
取替燃料集合体平均	約 27,500MW/t	約 28,500MW/t	約 33,000MW/t	約 39,000MW/t	約 45,000MW/t	約 45,000MW/t																																																																																																																																																																																																													
燃料集合体最高	45,000MW/t	45,000MW/t	45,000MW/t	45,000MW/t	55,000MW/t	55,000MW/t																																																																																																																																																																																																													
最大出力密度	44,000W/m	44,000W/m	44,000W/m	44,000W/m	44,000W/m	44,000W/m																																																																																																																																																																																																													
ペレット最高温度 (設計値出力密度)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,830℃ (UO ₂)	約 1,550℃ (UO ₂) 約 1,740℃ (4.2wt%Gd ₂ O ₃ 入)	約 1,550℃ (UO ₂) 約 1,410℃ (5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入)																																																																																																																																																																																																													
被覆管外周最高温度	約 330℃	約 330℃	約 330℃	約 310℃	約 310℃	約 340℃																																																																																																																																																																																																													
ヘリウム封入圧	大気圧	約 0.3MPa	約 0.3MPa	約 0.3MPa	約 1.0MPa	約 1.0MPa																																																																																																																																																																																																													
Gd ₂ O ₃ 濃度	5wt%以下	6wt%以下	6wt%以下	5.5wt%以下	2～5wt%程度	2～5wt%程度																																																																																																																																																																																																													
燃料棒外径	約 1.25cm	約 1.10cm	約 1.10cm	約 1.10cm	約 2.48cm	—																																																																																																																																																																																																													
燃料棒内径	—	—	—	—	—	約 2.85cm																																																																																																																																																																																																													
		変 更 前	変 更 後																																																																																																																																																																																																																
種 類	—	二酸化ウラン焼結ペレット及び、ガドリニアを含む焼結ペレット、 ジルカロイ-2（ジルコニウム内張） 管被覆	ハ(2)(i)-①																																																																																																																																																																																																																
		取替燃料集合体 タイプ 1 (高燃焼度 8×8 燃料)	約 3.4																																																																																																																																																																																																																
燃 料 集 合 体 平 均 濃 縮 度 又 は 富 化 度 *1	取 替 燃 料 wt%	取替燃料集合体 タイプ 2 (9×9 燃料 (A 型))	約 3.7																																																																																																																																																																																																																
		取替燃料集合体 タイプ 3 (9×9 燃料 (B 型))	約 3.7																																																																																																																																																																																																																
燃 料 集 合 体 最 高 燃 焼 度 *2	取 替 燃 料 MW/t	取替燃料集合体 タイプ 1 (高燃焼度 8×8 燃料)	50000																																																																																																																																																																																																																
		取替燃料集合体 タイプ 2 (9×9 燃料 (A 型))	55000																																																																																																																																																																																																																
		取替燃料集合体 タイプ 3 (9×9 燃料 (B 型))	55000																																																																																																																																																																																																																
核 燃 料 物 質 の 最 大 装 荷 量 *3	MTU *4	高燃焼度 8×8 燃料炉心	約 131																																																																																																																																																																																																																
		9×9 燃料 (A 型) 炉心	約 132																																																																																																																																																																																																																
		9×9 燃料 (B 型) 炉心	約 131																																																																																																																																																																																																																

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																
<div><p>(iii) 燃料要素の構造^{ハ(2)(iii)-①}</p><p>a. 構造</p><p>燃料棒は、円筒形被覆管に二酸化ウラン焼結ペレット（一部ガドリニアを含む。）を挿入し、両端を密封した構造とし、8×8燃料はヘリウムが充填され、新型8×8燃料、高燃焼度8×8燃料及び9×9燃料はヘリウムが加圧充填されている。</p><p>b. 主要寸法</p><table><tr><td>燃料棒外径</td><td></td></tr><tr><td>8×8燃料</td><td>約13mm</td></tr><tr><td>新型8×8燃料</td><td>約12mm</td></tr><tr><td>高燃焼度8×8燃料</td><td>約12mm</td></tr><tr><td>9×9燃料</td><td>約11mm</td></tr><tr><td>被覆管厚さ</td><td></td></tr><tr><td>8×8燃料</td><td>約0.9mm</td></tr><tr><td>新型8×8燃料</td><td>約0.9mm</td></tr><tr><td>新型8×8ジルコニウムライナ燃料</td><td>約0.9mm</td></tr><tr><td>（うちジルコニウム内張約0.1mm）</td><td></td></tr><tr><td>高燃焼度8×8燃料</td><td>約0.9mm</td></tr><tr><td>（うちジルコニウム内張約0.1mm）</td><td></td></tr><tr><td>9×9燃料</td><td>約0.7mm</td></tr><tr><td>（うちジルコニウム内張約0.1mm）</td><td></td></tr></table><p>^{ハ(2)(iii)-②}燃料棒有効長さ</p><table><tr><td>8×8燃料</td><td>約3.7m</td></tr><tr><td>新型8×8燃料</td><td>約3.7m</td></tr><tr><td>高燃焼度8×8燃料</td><td>約3.7m</td></tr><tr><td>9×9燃料（A型）</td><td></td></tr><tr><td>標準燃料棒</td><td>約3.7m</td></tr><tr><td>部分長燃料棒</td><td>約2.2m</td></tr><tr><td>9×9燃料（B型）</td><td>約3.7m</td></tr></table><p>（本文十号）</p><p>燃料ペレット、燃料被覆管径等の炉心及び燃料形状に関する条件は設計値を用いる。</p><ul style="list-style-type: none">記載箇所ハ(2)(ii)a.(b)(b-1)(b-1-1)(b-1-1-1)ハ(2)(ii)a.(b)(b-1)(b-1-1)(b-1-1-2)ハ(2)(ii)a.(b)(b-2)(b-2-1)</div>	燃料棒外径		8×8燃料	約13mm	新型8×8燃料	約12mm	高燃焼度8×8燃料	約12mm	9×9燃料	約11mm	被覆管厚さ		8×8燃料	約0.9mm	新型8×8燃料	約0.9mm	新型8×8ジルコニウムライナ燃料	約0.9mm	（うちジルコニウム内張約0.1mm）		高燃焼度8×8燃料	約0.9mm	（うちジルコニウム内張約0.1mm）		9×9燃料	約0.7mm	（うちジルコニウム内張約0.1mm）		8×8燃料	約3.7m	新型8×8燃料	約3.7m	高燃焼度8×8燃料	約3.7m	9×9燃料（A型）		標準燃料棒	約3.7m	部分長燃料棒	約2.2m	9×9燃料（B型）	約3.7m	<div><p>第3.2-1表 燃料設計仕様概要</p><table><tr><th></th><th>8×8燃料</th><th>新型8×8燃料</th><th>新型8×8ジルコニウムライナ燃料</th><th>高燃焼度8×8燃料</th><th>9×9燃料（A型）</th><th>9×9燃料（B型）</th></tr><tr><td>ペレット直径</td><td>約1.04cm</td><td>約1.03cm</td><td>約1.03cm</td><td>約1.04cm</td><td>約0.96cm</td><td>約0.94cm</td></tr><tr><td>ペレット長さ</td><td>約1.1cm</td><td>約1.0cm</td><td>約1.0cm</td><td>約1.0cm</td><td>約1.0cm</td><td>約1.0cm</td></tr><tr><td>ペレット密度</td><td>理論密度の約95%</td><td>理論密度の約95%</td><td>理論密度の約95%</td><td>理論密度の約97%</td><td>理論密度の約97%</td><td>理論密度の約97%</td></tr><tr><td>ペレット材</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td><td>U₃O₈-Gd₂O₃</td></tr><tr><td>被覆管外径</td><td>約1.23cm</td><td>約1.23cm</td><td>約1.23cm</td><td>約1.23cm</td><td>約1.12cm</td><td>約1.10cm</td></tr><tr><td>被覆管厚さ</td><td>約0.88mm</td><td>約0.88mm</td><td>約0.88mm</td><td>約0.88mm</td><td>約0.71mm</td><td>約0.70mm</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>（うちZr₃Ni₂P内張約0.1mm）</td><td>（うちZr₃Ni₂P内張約0.1mm）</td><td>（うちZr₃Ni₂P内張約0.1mm）</td><td>（うちZr₃Ni₂P内張約0.1mm）</td></tr><tr><td>被覆管材料</td><td>ジルカロイ-2</td><td>ジルカロイ-2</td><td>ジルカロイ-2（Zr₃Ni₂P内張）</td><td>ジルカロイ-2（Zr₃Ni₂P内張）</td><td>ジルカロイ-2（Zr₃Ni₂P内張）</td><td>ジルカロイ-2（Zr₃Ni₂P内張）</td></tr><tr><td>燃料集合体全長（つかみ部分を含む）</td><td>約4.47m</td><td>約4.47m</td><td>約4.47m</td><td>約4.47m</td><td>約4.47m</td><td>約4.47m</td></tr><tr><td>被覆管径比</td><td>約3.71m</td><td>約3.71m</td><td>約3.71m</td><td>約3.71m</td><td>部分長燃料棒 約3.36m</td><td>約3.71m</td></tr><tr><td>ペレット-被覆管間隙</td><td>約0.23mm</td><td>約0.24mm</td><td>約0.24mm</td><td>約0.20mm</td><td>約0.20mm</td><td>約0.20mm</td></tr><tr><td>グレナ体積比</td><td>約0.1</td><td>約0.1</td><td>約0.1</td><td>約0.1</td><td>標準燃料棒 約0.1</td><td>部分長燃料棒 約0.2</td></tr><tr><td>ウラン濃縮度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>初装荷燃料集合体平均</td><td>約2.3wt%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>取替燃料集合体平均</td><td>約2.7wt%</td><td>約2.9wt%</td><td>約3.0wt%</td><td>約3.4wt%</td><td>約3.7wt%</td><td>約3.7wt%</td></tr><tr><td>燃 焼 度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>初装荷燃料集合体平均</td><td>約21,000MWt/1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>取替燃料集合体平均</td><td>約27,500MWt/1</td><td>約28,500MWt/1</td><td>約32,000MWt/1</td><td>約38,500MWt/1</td><td>約45,000MWt/1</td><td>約45,000MWt/1</td></tr><tr><td>燃料集合体最高</td><td>45,000MWt/1</td><td>45,000MWt/1</td><td>45,000MWt/1</td><td>55,000MWt/1</td><td>55,000MWt/1</td><td>55,000MWt/1</td></tr><tr><td>最大出力密度</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td><td>44.0kW/m²</td></tr><tr><td>ペレット最高温度（設計線出力密度）</td><td>約1,830℃（10s）</td><td>約1,850℃（10s）</td><td>約1,850℃（10s）</td><td>約1,530℃（10s）</td><td>約1,550℃（10s）</td><td>約1,550℃（10s）</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>（4.5wt%Gd₂O₃入り）</td><td>（5.0wt%Gd₂O₃入り）</td><td>（5.0wt%Gd₂O₃入り）</td></tr><tr><td>被覆管外面最高温度</td><td>約200℃</td><td>約200℃</td><td>約200℃</td><td>約200℃</td><td>約200℃</td><td>約200℃</td></tr><tr><td>ヘリウム流入圧</td><td>大気圧</td><td>約0.3MPa</td><td>約0.3MPa</td><td>約0.3MPa</td><td>約1.0MPa</td><td>約1.0MPa</td></tr><tr><td>Gr-O₂-O₂濃度</td><td>5wt%以下</td><td>4wt%以下</td><td>4wt%以下</td><td>5.5wt%以下</td><td>3～5wt%程度</td><td>3～5wt%程度</td></tr><tr><td>Gr-Fe₂O₃外径</td><td>約1.23cm</td><td>約1.55cm</td><td>約1.55cm</td><td>約3.40cm</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>Gr-Fe₂O₃内径</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>約3.85cm</td></tr></table></div>		8×8燃料	新型8×8燃料	新型8×8ジルコニウムライナ燃料	高燃焼度8×8燃料	9×9燃料（A型）	9×9燃料（B型）	ペレット直径	約1.04cm	約1.03cm	約1.03cm	約1.04cm	約0.96cm	約0.94cm	ペレット長さ	約1.1cm	約1.0cm	約1.0cm	約1.0cm	約1.0cm	約1.0cm	ペレット密度	理論密度の約95%	理論密度の約95%	理論密度の約95%	理論密度の約97%	理論密度の約97%	理論密度の約97%	ペレット材	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	被覆管外径	約1.23cm	約1.23cm	約1.23cm	約1.23cm	約1.12cm	約1.10cm	被覆管厚さ	約0.88mm	約0.88mm	約0.88mm	約0.88mm	約0.71mm	約0.70mm				（うちZr ₃ Ni ₂ P内張約0.1mm）	（うちZr ₃ Ni ₂ P内張約0.1mm）	（うちZr ₃ Ni ₂ P内張約0.1mm）	（うちZr ₃ Ni ₂ P内張約0.1mm）	被覆管材料	ジルカロイ-2	ジルカロイ-2	ジルカロイ-2（Zr ₃ Ni ₂ P内張）	ジルカロイ-2（Zr ₃ Ni ₂ P内張）	ジルカロイ-2（Zr ₃ Ni ₂ P内張）	ジルカロイ-2（Zr ₃ Ni ₂ P内張）	燃料集合体全長（つかみ部分を含む）	約4.47m	約4.47m	約4.47m	約4.47m	約4.47m	約4.47m	被覆管径比	約3.71m	約3.71m	約3.71m	約3.71m	部分長燃料棒 約3.36m	約3.71m	ペレット-被覆管間隙	約0.23mm	約0.24mm	約0.24mm	約0.20mm	約0.20mm	約0.20mm	グレナ体積比	約0.1	約0.1	約0.1	約0.1	標準燃料棒 約0.1	部分長燃料棒 約0.2	ウラン濃縮度							初装荷燃料集合体平均	約2.3wt%	—	—	—	—	—	取替燃料集合体平均	約2.7wt%	約2.9wt%	約3.0wt%	約3.4wt%	約3.7wt%	約3.7wt%	燃 焼 度							初装荷燃料集合体平均	約21,000MWt/1	—	—	—	—	—	取替燃料集合体平均	約27,500MWt/1	約28,500MWt/1	約32,000MWt/1	約38,500MWt/1	約45,000MWt/1	約45,000MWt/1	燃料集合体最高	45,000MWt/1	45,000MWt/1	45,000MWt/1	55,000MWt/1	55,000MWt/1	55,000MWt/1	最大出力密度	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	ペレット最高温度（設計線出力密度）	約1,830℃（10s）	約1,850℃（10s）	約1,850℃（10s）	約1,530℃（10s）	約1,550℃（10s）	約1,550℃（10s）					（4.5wt%Gd ₂ O ₃ 入り）	（5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入り）	（5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入り）	被覆管外面最高温度	約200℃	約200℃	約200℃	約200℃	約200℃	約200℃	ヘリウム流入圧	大気圧	約0.3MPa	約0.3MPa	約0.3MPa	約1.0MPa	約1.0MPa	Gr-O ₂ -O ₂ 濃度	5wt%以下	4wt%以下	4wt%以下	5.5wt%以下	3～5wt%程度	3～5wt%程度	Gr-Fe ₂ O ₃ 外径	約1.23cm	約1.55cm	約1.55cm	約3.40cm	—	—	Gr-Fe ₂ O ₃ 内径	—	—	—	—	—	約3.85cm	<div><p>【原子炉本体】（基本設計方針）</p><p>1. 炉心等</p><p>^{ハ(2)(iii)-①}燃料体（燃料要素及びその他の部品を含む。）は、設置（変更）許可を受けた仕様となる構造及び設計とする。</p><p><中略></p><p>【原子炉本体】（要目表）</p><p>2 炉心に係る次の事項</p><p>(1) 炉心形状（チャンネルボックスの主要寸法及び材料を付記すること。）、格子形状、燃料集合体数、炉心有効高さ及び炉心等価直径</p><table><tr><th></th><th>変 更 前</th><th>変 更 後</th></tr><tr><td>炉 心 形 状</td><td>円柱形（8×8型及び9×9型燃料集合体形状、チャンネルボックス（断面内寸） 板 mm、 mm、 mm、 ジルカロイ-4製）*1（付き）</td><td>変更なし</td></tr><tr><td>格 子 形 状</td><td>C格子</td><td></td></tr><tr><td>燃料集合体数</td><td>764</td><td></td></tr><tr><td>炉心有効高さ</td><td>mm</td><td>^{ハ(2)(iii)-②}</td></tr><tr><td>炉心等価直径</td><td>mm</td><td></td></tr></table><p>注記 *1：公称値を示す。 *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p></div>		変 更 前	変 更 後	炉 心 形 状	円柱形（8×8型及び9×9型燃料集合体形状、チャンネルボックス（断面内寸） 板 mm、 mm、 mm、 ジルカロイ-4製）*1（付き）	変更なし	格 子 形 状	C格子		燃料集合体数	764		炉心有効高さ	mm	^{ハ(2)(iii)-②}	炉心等価直径	mm		<div><p>設置変更許可申請書（本文）の^{ハ(2)(iii)-①}は、工事の計画において設置許可を受けた仕様となる構造及び設計としており整合している。</p><p>工事の計画の^{ハ(2)(iii)-②}は、設置変更許可申請書（本文）の^{ハ(2)(iii)-②}を詳細に記載しており整合している。</p></div>	
燃料棒外径																																																																																																																																																																																																																																																																				
8×8燃料	約13mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
新型8×8燃料	約12mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
高燃焼度8×8燃料	約12mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
9×9燃料	約11mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
被覆管厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																				
8×8燃料	約0.9mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
新型8×8燃料	約0.9mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
新型8×8ジルコニウムライナ燃料	約0.9mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
（うちジルコニウム内張約0.1mm）																																																																																																																																																																																																																																																																				
高燃焼度8×8燃料	約0.9mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
（うちジルコニウム内張約0.1mm）																																																																																																																																																																																																																																																																				
9×9燃料	約0.7mm																																																																																																																																																																																																																																																																			
（うちジルコニウム内張約0.1mm）																																																																																																																																																																																																																																																																				
8×8燃料	約3.7m																																																																																																																																																																																																																																																																			
新型8×8燃料	約3.7m																																																																																																																																																																																																																																																																			
高燃焼度8×8燃料	約3.7m																																																																																																																																																																																																																																																																			
9×9燃料（A型）																																																																																																																																																																																																																																																																				
標準燃料棒	約3.7m																																																																																																																																																																																																																																																																			
部分長燃料棒	約2.2m																																																																																																																																																																																																																																																																			
9×9燃料（B型）	約3.7m																																																																																																																																																																																																																																																																			
	8×8燃料	新型8×8燃料	新型8×8ジルコニウムライナ燃料	高燃焼度8×8燃料	9×9燃料（A型）	9×9燃料（B型）																																																																																																																																																																																																																																																														
ペレット直径	約1.04cm	約1.03cm	約1.03cm	約1.04cm	約0.96cm	約0.94cm																																																																																																																																																																																																																																																														
ペレット長さ	約1.1cm	約1.0cm	約1.0cm	約1.0cm	約1.0cm	約1.0cm																																																																																																																																																																																																																																																														
ペレット密度	理論密度の約95%	理論密度の約95%	理論密度の約95%	理論密度の約97%	理論密度の約97%	理論密度の約97%																																																																																																																																																																																																																																																														
ペレット材	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃	U ₃ O ₈ -Gd ₂ O ₃																																																																																																																																																																																																																																																														
被覆管外径	約1.23cm	約1.23cm	約1.23cm	約1.23cm	約1.12cm	約1.10cm																																																																																																																																																																																																																																																														
被覆管厚さ	約0.88mm	約0.88mm	約0.88mm	約0.88mm	約0.71mm	約0.70mm																																																																																																																																																																																																																																																														
			（うちZr ₃ Ni ₂ P内張約0.1mm）	（うちZr ₃ Ni ₂ P内張約0.1mm）	（うちZr ₃ Ni ₂ P内張約0.1mm）	（うちZr ₃ Ni ₂ P内張約0.1mm）																																																																																																																																																																																																																																																														
被覆管材料	ジルカロイ-2	ジルカロイ-2	ジルカロイ-2（Zr ₃ Ni ₂ P内張）	ジルカロイ-2（Zr ₃ Ni ₂ P内張）	ジルカロイ-2（Zr ₃ Ni ₂ P内張）	ジルカロイ-2（Zr ₃ Ni ₂ P内張）																																																																																																																																																																																																																																																														
燃料集合体全長（つかみ部分を含む）	約4.47m	約4.47m	約4.47m	約4.47m	約4.47m	約4.47m																																																																																																																																																																																																																																																														
被覆管径比	約3.71m	約3.71m	約3.71m	約3.71m	部分長燃料棒 約3.36m	約3.71m																																																																																																																																																																																																																																																														
ペレット-被覆管間隙	約0.23mm	約0.24mm	約0.24mm	約0.20mm	約0.20mm	約0.20mm																																																																																																																																																																																																																																																														
グレナ体積比	約0.1	約0.1	約0.1	約0.1	標準燃料棒 約0.1	部分長燃料棒 約0.2																																																																																																																																																																																																																																																														
ウラン濃縮度																																																																																																																																																																																																																																																																				
初装荷燃料集合体平均	約2.3wt%	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																														
取替燃料集合体平均	約2.7wt%	約2.9wt%	約3.0wt%	約3.4wt%	約3.7wt%	約3.7wt%																																																																																																																																																																																																																																																														
燃 焼 度																																																																																																																																																																																																																																																																				
初装荷燃料集合体平均	約21,000MWt/1	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																														
取替燃料集合体平均	約27,500MWt/1	約28,500MWt/1	約32,000MWt/1	約38,500MWt/1	約45,000MWt/1	約45,000MWt/1																																																																																																																																																																																																																																																														
燃料集合体最高	45,000MWt/1	45,000MWt/1	45,000MWt/1	55,000MWt/1	55,000MWt/1	55,000MWt/1																																																																																																																																																																																																																																																														
最大出力密度	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²	44.0kW/m ²																																																																																																																																																																																																																																																														
ペレット最高温度（設計線出力密度）	約1,830℃（10s）	約1,850℃（10s）	約1,850℃（10s）	約1,530℃（10s）	約1,550℃（10s）	約1,550℃（10s）																																																																																																																																																																																																																																																														
				（4.5wt%Gd ₂ O ₃ 入り）	（5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入り）	（5.0wt%Gd ₂ O ₃ 入り）																																																																																																																																																																																																																																																														
被覆管外面最高温度	約200℃	約200℃	約200℃	約200℃	約200℃	約200℃																																																																																																																																																																																																																																																														
ヘリウム流入圧	大気圧	約0.3MPa	約0.3MPa	約0.3MPa	約1.0MPa	約1.0MPa																																																																																																																																																																																																																																																														
Gr-O ₂ -O ₂ 濃度	5wt%以下	4wt%以下	4wt%以下	5.5wt%以下	3～5wt%程度	3～5wt%程度																																																																																																																																																																																																																																																														
Gr-Fe ₂ O ₃ 外径	約1.23cm	約1.55cm	約1.55cm	約3.40cm	—	—																																																																																																																																																																																																																																																														
Gr-Fe ₂ O ₃ 内径	—	—	—	—	—	約3.85cm																																																																																																																																																																																																																																																														
	変 更 前	変 更 後																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉 心 形 状	円柱形（8×8型及び9×9型燃料集合体形状、チャンネルボックス（断面内寸） 板 mm、 mm、 mm、 ジルカロイ-4製）*1（付き）	変更なし																																																																																																																																																																																																																																																																		
格 子 形 状	C格子																																																																																																																																																																																																																																																																			
燃料集合体数	764																																																																																																																																																																																																																																																																			
炉心有効高さ	mm	^{ハ(2)(iii)-②}																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉心等価直径	mm																																																																																																																																																																																																																																																																			

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																				
<p>(iv) 燃料集合体の構造</p> <p>a. 構造</p> <p>h(2)(iv)-①8×8燃料は 63 本の燃料棒と 1 本のウォータ・ロッドを、新型 8×8 燃料は 62 本の燃料棒と 2 本のウォータ・ロッドを、h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料は 60 本の燃料棒と 1 本のウォータ・ロッドをそれぞれ 8 行 8 列の正方形に配列し、また、9×9 燃料（A 型）は 74 本の燃料棒（標準燃料棒 66 本及び部分長燃料棒 8 本）と 2 本のウォータ・ロッドを、9×9 燃料（B 型）は 72 本の燃料棒と 1 本のウォータ・チャンネルをそれぞれ 9 行 9 列の正方形に配列し、上端及び下端にタイ・プレートを取り付ける。</p> <p>燃料集合体の外側にはチャンネル・ボックスを取り付け、冷却材流路を構成する。各燃料棒の間隔は、ウォータ・ロッド又はウォータ・チャンネルで上下方向の位置を定めたスペーサにより一定に保たれる構造とする。</p> <p>燃料集合体は、原子炉の使用期間中に生じ得る種々の因子を考慮しても、その健全性を失うことがない設計とする。</p> <p>また、燃料集合体は、輸送及び取扱い中に過度の変形を生じない設計とする。</p> <p>b. 主要仕様</p> <p>燃料集合体における燃料棒配列h(2)(iv)-②</p> <table><tr><td>h(2)(iv)-①8×8 燃料</td><td>8×8</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料</td><td>8×8</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料</td><td>8×8</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-②9×9 燃料</td><td>9×9</td></tr></table> <p>燃料棒ピッチh(2)(iv)-②</p> <table><tr><td>h(2)(iv)-①8×8 燃料</td><td>約 16mm</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料</td><td>約 16mm</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料</td><td>約 16mm</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-②9×9 燃料</td><td>約 14mm</td></tr></table> <p>燃料集合体当たりの燃料棒本数h(2)(iv)-②</p> <table><tr><td>h(2)(iv)-①8×8 燃料</td><td>63</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料</td><td>62</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料</td><td>60</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-②9×9 燃料（A 型）</td><td></td></tr><tr><td>標準燃料棒</td><td>66</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-②部分長燃料棒</td><td>8</td></tr><tr><td>9×9 燃料（B 型）</td><td>72</td></tr></table> <p>燃料集合体当たりのウォータ・ロッド本数h(2)(iv)-②</p> <table><tr><td>h(2)(iv)-①8×8 燃料</td><td>1</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料</td><td>2</td></tr><tr><td>h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料</td><td>1</td></tr></table>	h(2)(iv)-①8×8 燃料	8×8	h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料	8×8	h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料	8×8	h(2)(iv)-②9×9 燃料	9×9	h(2)(iv)-①8×8 燃料	約 16mm	h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料	約 16mm	h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料	約 16mm	h(2)(iv)-②9×9 燃料	約 14mm	h(2)(iv)-①8×8 燃料	63	h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料	62	h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料	60	h(2)(iv)-②9×9 燃料（A 型）		標準燃料棒	66	h(2)(iv)-②部分長燃料棒	8	9×9 燃料（B 型）	72	h(2)(iv)-①8×8 燃料	1	h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料	2	h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料	1		<p>【原子炉本体】（基本設計方針）</p> <p>1. 炉心等</p> <p>h(2)(iv)-②燃料体（燃料要素及びその他の部品を含む。）は、設置（変更）許可を受けた仕様となる構造及び設計とする。</p> <p>＜中略＞</p> <p>燃料体は、通常運転時における発電用原子炉内の最高使用圧力、自重、附加荷重、核分裂生成物の蓄積による燃料被覆材の内圧上昇、熱応力等の荷重に耐える設計とする。また、輸送中又は取扱中において、著しい変形を生じない設計とする。</p> <p>＜中略＞</p> <p>2.1 原子炉圧力容器本体</p> <p>＜中略＞</p> <p>チャンネル・ボックスは、制御棒をガイドし、燃料集合体を保護する設計とする。</p>	<p>設置変更許可申請書（本文）のh(2)(iv)-①は、本工事計画の対象外である。</p> <p>設置変更許可申請書（本文）のh(2)(iv)-②は、工事の計画において設置許可を受けた仕様となる構造及び設計としており整合している。</p>	
h(2)(iv)-①8×8 燃料	8×8																																							
h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料	8×8																																							
h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料	8×8																																							
h(2)(iv)-②9×9 燃料	9×9																																							
h(2)(iv)-①8×8 燃料	約 16mm																																							
h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料	約 16mm																																							
h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料	約 16mm																																							
h(2)(iv)-②9×9 燃料	約 14mm																																							
h(2)(iv)-①8×8 燃料	63																																							
h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料	62																																							
h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料	60																																							
h(2)(iv)-②9×9 燃料（A 型）																																								
標準燃料棒	66																																							
h(2)(iv)-②部分長燃料棒	8																																							
9×9 燃料（B 型）	72																																							
h(2)(iv)-①8×8 燃料	1																																							
h(2)(iv)-①新型 8×8 燃料	2																																							
h(2)(iv)-②高燃焼度 8×8 燃料	1																																							

設置変更許可申請書（本文）		設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項		工事の計画 該当事項		整合性		備考	
ハ(2) (iv)-② 9×9燃料（A型）.....2									
燃料集合体当たりのウォータ・チャンネル本数		ハ(2) (iv)-②							
ハ(2) (iv)-② 9×9燃料（B型）.....1									
（v）最高燃焼度									
燃料集合体最高燃焼度									
ハ(2) (v)-① 8×8燃料		35,000 MWd／t							
ハ(2) (v)-① 新型8×8燃料		40,000 MWd／t							
高燃焼度8×8燃料		50,000 MWd／t							
9×9燃料		55,000 MWd／t							

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「初期濃縮度」と記載。
*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃焼率（燃焼度）」と記載。
*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「装荷量」と記載。
*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「t」と記載。

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(3) <u>ハ(3)-①</u>減速材及び反射材の種類 軽水</p> <p>(4) 原子炉容器 <u>ハ(4)-①</u>原子炉容器は、炉心及びジェット・ポンプを収容する耐圧容器であり、上蓋はフランジ部でボルト締めする。</p> <p><u>ハ(4)-②</u>なお、中性子照射による NDT 温度変化を監視するため炉内に試験片を挿入する。</p> <p>(i) 構造 a <u>ハ(4)(i)-①</u>形 状 たて形円筒形 b 主要寸法 <u>ハ(4)(i)-②</u>内 径 約 6.4m <u>ハ(4)(i)-③</u>外 高 約 23m c <u>ハ(4)(i)-④</u>材 料 母材 低合金鋼(原子力発電用マンガン・モリブデン・ニッケル鋼板 2 種相当品及び原子力発電用鍛鋼品 2 種相当品) 内張 ステンレス鋼 d 主要ノズル取付位置 再循環水出口ノズル <u>ハ(4)(i)-⑤</u>胴下部 再循環水入口ノズル <u>ハ(4)(i)-⑤</u>胴下部</p>	<p>3.1 概要 その 5－9×9 燃料が装荷されたサイクル以降 原子炉は、原子炉冷却材（以下 3. では「冷却材」という。）及び減速材に軽水を使用した強制循環直接サイクルで、内部気水分離方式及び内蔵ジェット・ポンプ方式を採用した沸騰水型原子炉である。 <中略></p> <p>3.5 原子炉圧力容器 3.5.1 概要 <中略> 圧力容器は微細な結晶粒子の鋼板で製作するので、母材の放射線照射による影響は小さくなり、中性子照射による靱性低下が少なくなるように設計を行っている。なお、原子炉圧力容器の中性子照射に対する健全性は、監視試験により適切に管理していく。 <中略> 圧力容器の蓋は取りはずしが容易のようにフランジ接続とし、二重 <u>黄</u> リングで圧力容器本体と蓋の接続部からの漏えいを防止している。 圧力容器の下端はスカーツで支持され、容器の頂部は、横方向の支持のために、構造物に取付けられた横振動防止機構で支持し、軸方向および半径方向への容器の膨脹はできるようになっている。 <中略></p> <p>3.5.2 圧力容器の設計 <中略> 原子炉圧力容器の仕様は次のとおりである。 最高使用圧力 : 87.9kg/cm²g 最高使用温度 : 302℃ 運転圧力 : 約 71.7kg/cm²abs 運転温度 : 約 286℃ 推定照射量 (<u>黄</u> 1MeV 中性子): 約 3.62×10¹⁷nvt (40 定格負荷相当年時点) <中略> 材 料 母 材 : 原子力発電用マンガン・モリブデン・ニッケル鋼板 2 種相当品および原子力発電用鍛鋼品 2 種相当品</p>	<p>【原子炉本体】（基本設計方針） 2.1 原子炉圧力容器本体 <中略> <u>ハ(4)-①</u>原子炉圧力容器は、円筒形の胴部に半球形の下鏡を付した鋼製容器に、半球形の鋼製上部ふたをボルト締めする構造であり、再循環水出口ノズル、再循環水入口ノズル、主蒸気ノズル、給水ノズル等を取り付ける設計とする。 <中略> 原子炉圧力容器は最低使用温度を 21℃に設定し、関連温度（初期）を-12℃以下に設定することで脆性破壊が生じない設計とする。 中性子照射脆化の影響を受ける原子炉圧力容器にあつては、日本電気協会「原子力発電所用機器に対する破壊靱性の確認試験方法」（J E A C 4 2 0 6）に基づき、適切な破壊じん性を有する設計とする。 <中略></p> <p>2.2 監視試験片 1 メガ電子ボルト以上の中性子の照射を受ける原子炉圧力容器は、当該容器が想定される運転状態において脆性破壊を引き起こさないようにするために、施設時に適用された告示「発電用原子力設備に関する構造等の技術基準（昭和 45 年通商産業省告示第 5 0 1 号）」を満足し、機械的強度及び破壊じん性の変化を確認できる個数の <u>ハ(4)-②</u>監視試験片を原子炉圧力容器内部に挿入することにより、照射の影響を確認できる設計とする。 監視試験片は、適用可能な日本電気協会「原子炉構造物の監視試験方法」（J E A C 4 2 0 1）により、取り出し及び監視試験を実施する。</p> <p>【原子炉冷却系統施設（蒸気タービンを除く。）】（基本設計方針）「共通項目」 5. 設備に対する要求 5.2 材料及び構造等 <中略></p> <p>(2) 破壊じん性 a. クラス 1 容器は、当該容器が使用される圧力、温度、放射線、荷重その他の使用条件に対して適切な破壊じん性を有する材料を使用する。また、破壊じん性は、寸法、材質又は破壊じん性試験により確認する。</p>	<p>設置変更許可申請書（本文）の <u>ハ(3)-①</u> は、本工事計画の対象外である。</p> <p>工事の計画の <u>ハ(4)-①</u> は、設置変更許可申請書（本文）の <u>ハ(4)-①</u> を具体的に記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の <u>ハ(4)-②</u> は、設置変更許可申請書（本文）の <u>ハ(4)-②</u> と、文章表現は異なるが、内容に相違はないため整合している。</p> <p>工事の計画の <u>ハ(4)(i)-①</u> は、設置変更許可申請書（本文）の <u>ハ(4)(i)-①</u> を詳細に記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の <u>ハ(4)(i)-②</u> は、設置変更許可申請書（本文）の <u>ハ(4)(i)-②</u> を詳細に記載しており整合している。</p> <p>工事の計画の <u>ハ(4)(i)-③</u> は、原子炉圧力容器内高を記載し、設置変更許可申請書（本</p>	

設置変更許可申請書（本文）		設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項		工事の計画 該当事項		整合性		備 考	
e	h(4)(i)-⑤主蒸気出口ノズル..... 胴上部		内 張 : ステンレス鋼		原子炉压力容器については、原子炉压力容器の脆性破壊を防止するため、中性子照射脆化の影響を考慮した最低試験温度を確認し、適切な破壊じん性を維持できるように、原子炉冷却材温度及び圧力の制限範囲を設定することを保安規定に定めて管理する。		文)のh(4)(i)-③は、原子炉压力容器外高を記載しており、同一設備の寸法を記載している。		
	h(4)(i)-⑤給水入口ノズル..... 胴中央部		寸 法 全 高 : 約 23m		【原子炉本体】（基本設計方針） 2.1 原子炉压力容器本体 原子炉压力容器は、円筒形の胴部に半球形の下鏡を付した鋼製容器に、半球形の鋼製上部ふたをボルト締めする構造であり、再循環水出口ノズル、再循環水入口ノズル、h(4)(i)-⑤主蒸気ノズル、給水ノズル等を取り付ける設計とする。 ＜中略＞ h(4)(i)-⑥原子炉压力容器の支持方法は、原子炉压力容器スカートで下端を固定し、原子炉压力容器スタビライザによって水平方向に支持する設計とする。 ＜中略＞	h(4)(i)-④は、設置変更許可申請書（本文）のh(4)(i)-④を詳細に記載しており整合している。			
	h(4)(i)-⑥支持方法		胴内径 : 約 6.4m			工事の計画のh(4)(i)-⑤は、設置変更許可申請書（本文）のh(4)(i)-⑤と、文章表現は異なるが、内容に相違はないため整合している。			
	下 部 円筒スカート支持		全重量(蓋を含む) : 約 750T			工事の計画の「主蒸気ノズル」は、設置変更許可申請書（本文）の「主蒸気出口ノズル」と同一設備であり整合している。			
	上 部 横振防止機構でドライウエル外周の壁に支持		容器支持スカート形状 : 円 筒			工事の計画の「給水ノズル」は、設置変更許可申請書（本文）の「給水入口ノズル」と同一設備であり整合している。			
<div>（本文十号）</div> <div>原子炉压力容器の形状に関する条件は設計値を用いる。</div> <div>・記載箇所</div> <div>ハ(2)(ii)a.(b)(b-1)(b-1-1)(b-1-1-1)</div> <div>ハ(2)(ii)a.(b)(b-1)(b-1-1)(b-1-1-2)</div> <div>ハ(2)(ii)a.(b)(b-2)(b-2-1)</div> <div>ハ(2)(ii)a.(b)(b-4)(b-4-1)</div>			<div>・設置変更許可申請書（本文十号）で使用している原子炉压力容器の形状に関する条件は設計値を用いていることから、工事の計画の原子炉压力容器の設計と整合している。</div>			【原子炉本体】（要目表）		工事の計画のh(4)(ii)-①は、設置変更許可申請書（本文）のh(4)(ii)-①と、文章表現は異なるが、内容に相違はないため整合している。	
						4 原子炉压力容器に係る次の事項			
						(1) 原子炉压力容器本体の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに監視試験品の種類、初装荷個数及び取付箇所			
						h(4)(i)-①			
						h(4)(i)-②			
h(4)(i)-③		h(4)(ii)-①							
h(4)(i)-④		h(4)(ii)-②							
h(4)(i)-⑤		h(4)(ii)-③							
h(4)(i)-⑥		h(4)(ii)-④							
h(4)(i)-⑦		h(4)(ii)-⑤							
h(4)(i)-⑧		h(4)(ii)-⑥							
h(4)(i)-⑨		h(4)(ii)-⑦							
h(4)(i)-⑩		h(4)(ii)-⑧							
h(4)(i)-⑪		h(4)(ii)-⑨							
h(4)(i)-⑫		h(4)(ii)-⑩							
h(4)(i)-⑬		h(4)(ii)-⑪							
h(4)(i)-⑭		h(4)(ii)-⑫							
h(4)(i)-⑮		h(4)(ii)-⑬							
h(4)(i)-⑯		h(4)(ii)-⑭							
h(4)(i)-⑰		h(4)(ii)-⑮							
h(4)(i)-⑱		h(4)(ii)-⑯							
h(4)(i)-⑲		h(4)(ii)-⑰							
h(4)(i)-⑳		h(4)(ii)-⑱							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘		h(4)(ii)-㉘							
h(4)(i)-㉙		h(4)(ii)-㉙							
h(4)(i)-㉚		h(4)(ii)-㉚							
h(4)(i)-㉛		h(4)(ii)-㉛							
h(4)(i)-㉜		h(4)(ii)-㉜							
h(4)(i)-㉝		h(4)(ii)-㉝							
h(4)(i)-㉞		h(4)(ii)-㉞							
h(4)(i)-㉟		h(4)(ii)-㉟							
h(4)(i)-㊱		h(4)(ii)-㊱							
h(4)(i)-㊲		h(4)(ii)-㊲							
h(4)(i)-㊳		h(4)(ii)-㊳							
h(4)(i)-㊴		h(4)(ii)-㊴							
h(4)(i)-㊵		h(4)(ii)-㊵							
h(4)(i)-㊶		h(4)(ii)-㊶							
h(4)(i)-㊷		h(4)(ii)-㊷							
h(4)(i)-㊸		h(4)(ii)-㊸							
h(4)(i)-㊹		h(4)(ii)-㊹							
h(4)(i)-㊺		h(4)(ii)-㊺							
h(4)(i)-㊻		h(4)(ii)-㊻							
h(4)(i)-㊼		h(4)(ii)-㊼							
h(4)(i)-㊽		h(4)(ii)-㊽							
h(4)(i)-㊾		h(4)(ii)-㊾							
h(4)(i)-㊿		h(4)(ii)-㊿							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘		h(4)(ii)-㉘							
h(4)(i)-㉙		h(4)(ii)-㉙							
h(4)(i)-㉚		h(4)(ii)-㉚							
h(4)(i)-㉛		h(4)(ii)-㉛							
h(4)(i)-㉜		h(4)(ii)-㉜							
h(4)(i)-㉝		h(4)(ii)-㉝							
h(4)(i)-㉞		h(4)(ii)-㉞							
h(4)(i)-㉟		h(4)(ii)-㉟							
h(4)(i)-㊱		h(4)(ii)-㊱							
h(4)(i)-㊲		h(4)(ii)-㊲							
h(4)(i)-㊳		h(4)(ii)-㊳							
h(4)(i)-㊴		h(4)(ii)-㊴							
h(4)(i)-㊵		h(4)(ii)-㊵							
h(4)(i)-㊶		h(4)(ii)-㊶							
h(4)(i)-㊷		h(4)(ii)-㊷							
h(4)(i)-㊸		h(4)(ii)-㊸							
h(4)(i)-㊹		h(4)(ii)-㊹							
h(4)(i)-㊺		h(4)(ii)-㊺							
h(4)(i)-㊻		h(4)(ii)-㊻							
h(4)(i)-㊼		h(4)(ii)-㊼							
h(4)(i)-㊽		h(4)(ii)-㊽							
h(4)(i)-㊾		h(4)(ii)-㊾							
h(4)(i)-㊿		h(4)(ii)-㊿							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘		h(4)(ii)-㉘							
h(4)(i)-㉙		h(4)(ii)-㉙							
h(4)(i)-㉚		h(4)(ii)-㉚							
h(4)(i)-㉛		h(4)(ii)-㉛							
h(4)(i)-㉜		h(4)(ii)-㉜							
h(4)(i)-㉝		h(4)(ii)-㉝							
h(4)(i)-㉞		h(4)(ii)-㉞							
h(4)(i)-㉟		h(4)(ii)-㉟							
h(4)(i)-㊱		h(4)(ii)-㊱							
h(4)(i)-㊲		h(4)(ii)-㊲							
h(4)(i)-㊳		h(4)(ii)-㊳							
h(4)(i)-㊴		h(4)(ii)-㊴							
h(4)(i)-㊵		h(4)(ii)-㊵							
h(4)(i)-㊶		h(4)(ii)-㊶							
h(4)(i)-㊷		h(4)(ii)-㊷							
h(4)(i)-㊸		h(4)(ii)-㊸							
h(4)(i)-㊹		h(4)(ii)-㊹							
h(4)(i)-㊺		h(4)(ii)-㊺							
h(4)(i)-㊻		h(4)(ii)-㊻							
h(4)(i)-㊼		h(4)(ii)-㊼							
h(4)(i)-㊽		h(4)(ii)-㊽							
h(4)(i)-㊾		h(4)(ii)-㊾							
h(4)(i)-㊿		h(4)(ii)-㊿							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘		h(4)(ii)-㉘							
h(4)(i)-㉙		h(4)(ii)-㉙							
h(4)(i)-㉚		h(4)(ii)-㉚							
h(4)(i)-㉛		h(4)(ii)-㉛							
h(4)(i)-㉜		h(4)(ii)-㉜							
h(4)(i)-㉝		h(4)(ii)-㉝							
h(4)(i)-㉞		h(4)(ii)-㉞							
h(4)(i)-㉟		h(4)(ii)-㉟							
h(4)(i)-㊱		h(4)(ii)-㊱							
h(4)(i)-㊲		h(4)(ii)-㊲							
h(4)(i)-㊳		h(4)(ii)-㊳							
h(4)(i)-㊴		h(4)(ii)-㊴							
h(4)(i)-㊵		h(4)(ii)-㊵							
h(4)(i)-㊶		h(4)(ii)-㊶							
h(4)(i)-㊷		h(4)(ii)-㊷							
h(4)(i)-㊸		h(4)(ii)-㊸							
h(4)(i)-㊹		h(4)(ii)-㊹							
h(4)(i)-㊺		h(4)(ii)-㊺							
h(4)(i)-㊻		h(4)(ii)-㊻							
h(4)(i)-㊼		h(4)(ii)-㊼							
h(4)(i)-㊽		h(4)(ii)-㊽							
h(4)(i)-㊾		h(4)(ii)-㊾							
h(4)(i)-㊿		h(4)(ii)-㊿							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘		h(4)(ii)-㉘							
h(4)(i)-㉙		h(4)(ii)-㉙							
h(4)(i)-㉚		h(4)(ii)-㉚							
h(4)(i)-㉛		h(4)(ii)-㉛							
h(4)(i)-㉜		h(4)(ii)-㉜							
h(4)(i)-㉝		h(4)(ii)-㉝							
h(4)(i)-㉞		h(4)(ii)-㉞							
h(4)(i)-㉟		h(4)(ii)-㉟							
h(4)(i)-㊱		h(4)(ii)-㊱							
h(4)(i)-㊲		h(4)(ii)-㊲							
h(4)(i)-㊳		h(4)(ii)-㊳							
h(4)(i)-㊴		h(4)(ii)-㊴							
h(4)(i)-㊵		h(4)(ii)-㊵							
h(4)(i)-㊶		h(4)(ii)-㊶							
h(4)(i)-㊷		h(4)(ii)-㊷							
h(4)(i)-㊸		h(4)(ii)-㊸							
h(4)(i)-㊹		h(4)(ii)-㊹							
h(4)(i)-㊺		h(4)(ii)-㊺							
h(4)(i)-㊻		h(4)(ii)-㊻							
h(4)(i)-㊼		h(4)(ii)-㊼							
h(4)(i)-㊽		h(4)(ii)-㊽							
h(4)(i)-㊾		h(4)(ii)-㊾							
h(4)(i)-㊿		h(4)(ii)-㊿							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘		h(4)(ii)-㉘							
h(4)(i)-㉙		h(4)(ii)-㉙							
h(4)(i)-㉚		h(4)(ii)-㉚							
h(4)(i)-㉛		h(4)(ii)-㉛							
h(4)(i)-㉜		h(4)(ii)-㉜							
h(4)(i)-㉝		h(4)(ii)-㉝							
h(4)(i)-㉞		h(4)(ii)-㉞							
h(4)(i)-㉟		h(4)(ii)-㉟							
h(4)(i)-㊱		h(4)(ii)-㊱							
h(4)(i)-㊲		h(4)(ii)-㊲							
h(4)(i)-㊳		h(4)(ii)-㊳							
h(4)(i)-㊴		h(4)(ii)-㊴							
h(4)(i)-㊵		h(4)(ii)-㊵							
h(4)(i)-㊶		h(4)(ii)-㊶							
h(4)(i)-㊷		h(4)(ii)-㊷							
h(4)(i)-㊸		h(4)(ii)-㊸							
h(4)(i)-㊹		h(4)(ii)-㊹							
h(4)(i)-㊺		h(4)(ii)-㊺							
h(4)(i)-㊻		h(4)(ii)-㊻							
h(4)(i)-㊼		h(4)(ii)-㊼							
h(4)(i)-㊽		h(4)(ii)-㊽							
h(4)(i)-㊾		h(4)(ii)-㊾							
h(4)(i)-㊿		h(4)(ii)-㊿							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘		h(4)(ii)-㉘							
h(4)(i)-㉙		h(4)(ii)-㉙							
h(4)(i)-㉚		h(4)(ii)-㉚							
h(4)(i)-㉛		h(4)(ii)-㉛							
h(4)(i)-㉜		h(4)(ii)-㉜							
h(4)(i)-㉝		h(4)(ii)-㉝							
h(4)(i)-㉞		h(4)(ii)-㉞							
h(4)(i)-㉟		h(4)(ii)-㉟							
h(4)(i)-㊱		h(4)(ii)-㊱							
h(4)(i)-㊲		h(4)(ii)-㊲							
h(4)(i)-㊳		h(4)(ii)-㊳							
h(4)(i)-㊴		h(4)(ii)-㊴							
h(4)(i)-㊵		h(4)(ii)-㊵							
h(4)(i)-㊶		h(4)(ii)-㊶							
h(4)(i)-㊷		h(4)(ii)-㊷							
h(4)(i)-㊸		h(4)(ii)-㊸							
h(4)(i)-㊹		h(4)(ii)-㊹							
h(4)(i)-㊺		h(4)(ii)-㊺							
h(4)(i)-㊻		h(4)(ii)-㊻							
h(4)(i)-㊼		h(4)(ii)-㊼							
h(4)(i)-㊽		h(4)(ii)-㊽							
h(4)(i)-㊾		h(4)(ii)-㊾							
h(4)(i)-㊿		h(4)(ii)-㊿							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘		h(4)(ii)-㉘							
h(4)(i)-㉙		h(4)(ii)-㉙							
h(4)(i)-㉚		h(4)(ii)-㉚							
h(4)(i)-㉛		h(4)(ii)-㉛							
h(4)(i)-㉜		h(4)(ii)-㉜							
h(4)(i)-㉝		h(4)(ii)-㉝							
h(4)(i)-㉞		h(4)(ii)-㉞							
h(4)(i)-㉟		h(4)(ii)-㉟							
h(4)(i)-㊱		h(4)(ii)-㊱							
h(4)(i)-㊲		h(4)(ii)-㊲							
h(4)(i)-㊳		h(4)(ii)-㊳							
h(4)(i)-㊴		h(4)(ii)-㊴							
h(4)(i)-㊵		h(4)(ii)-㊵							
h(4)(i)-㊶		h(4)(ii)-㊶							
h(4)(i)-㊷		h(4)(ii)-㊷							
h(4)(i)-㊸		h(4)(ii)-㊸							
h(4)(i)-㊹		h(4)(ii)-㊹							
h(4)(i)-㊺		h(4)(ii)-㊺							
h(4)(i)-㊻		h(4)(ii)-㊻							
h(4)(i)-㊼		h(4)(ii)-㊼							
h(4)(i)-㊽		h(4)(ii)-㊽							
h(4)(i)-㊾		h(4)(ii)-㊾							
h(4)(i)-㊿		h(4)(ii)-㊿							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘		h(4)(ii)-㉘							
h(4)(i)-㉙		h(4)(ii)-㉙							
h(4)(i)-㉚		h(4)(ii)-㉚							
h(4)(i)-㉛		h(4)(ii)-㉛							
h(4)(i)-㉜		h(4)(ii)-㉜							
h(4)(i)-㉝		h(4)(ii)-㉝							
h(4)(i)-㉞		h(4)(ii)-㉞							
h(4)(i)-㉟		h(4)(ii)-㉟							
h(4)(i)-㊱		h(4)(ii)-㊱							
h(4)(i)-㊲		h(4)(ii)-㊲							
h(4)(i)-㊳		h(4)(ii)-㊳							
h(4)(i)-㊴		h(4)(ii)-㊴							
h(4)(i)-㊵		h(4)(ii)-㊵							
h(4)(i)-㊶		h(4)(ii)-㊶							
h(4)(i)-㊷		h(4)(ii)-㊷							
h(4)(i)-㊸		h(4)(ii)-㊸							
h(4)(i)-㊹		h(4)(ii)-㊹							
h(4)(i)-㊺		h(4)(ii)-㊺							
h(4)(i)-㊻		h(4)(ii)-㊻							
h(4)(i)-㊼		h(4)(ii)-㊼							
h(4)(i)-㊽		h(4)(ii)-㊽							
h(4)(i)-㊾		h(4)(ii)-㊾							
h(4)(i)-㊿		h(4)(ii)-㊿							
h(4)(i)-㉑		h(4)(ii)-㉑							
h(4)(i)-㉒		h(4)(ii)-㉒							
h(4)(i)-㉓		h(4)(ii)-㉓							
h(4)(i)-㉔		h(4)(ii)-㉔							
h(4)(i)-㉕		h(4)(ii)-㉕							
h(4)(i)-㉖		h(4)(ii)-㉖							
h(4)(i)-㉗		h(4)(ii)-㉗							
h(4)(i)-㉘</									

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画　該当事項	整合性	備考																																																
		<div>(続き)</div> <table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">変 更 前</th><th>変更後</th></tr><tr><td rowspan="20">主 要 管 台・ セ ー フ エ ン ド 寸 法</td><td rowspan="8">恒心スプレイ ノ ズ ル （ N 5 ） *18 上鏡スプレイ ノ ズ ル （ N 6 ） *20 ベントノズル （ N 7 ） *21 ジェットポンプ 計測管貫通部 ノズル (N8) *22 制御梯駆動水 戻りノズル （ N 9 ） *24 差圧検出・ ほう酸水注入管 ノ ズ ル （ N 1 0 ） *26 計装ノズル (N11, N16) *27 計装ノズル （ N 1 2 ） *29</td><td>管 台 内 径</td><td>mm</td><td rowspan="20">変更 なし</td></tr><tr><td>管 台 厚 さ</td><td>mm</td></tr><tr><td>セーフエンド内径*30</td><td>mm</td></tr><tr><td>セーフエンド厚さ*31</td><td>mm</td></tr><tr><td>管 台 内 径*30</td><td>mm</td></tr><tr><td>管 台 厚 さ*31</td><td>mm</td></tr><tr><td>管 台 内 径</td><td>mm</td></tr><tr><td>管 台 厚 さ</td><td>mm</td></tr><tr><td>セーフエンド内径*30</td><td>mm</td></tr><tr><td>セーフエンド厚さ*31</td><td>mm</td></tr><tr><td>閉止キャップ内径</td><td>mm</td></tr><tr><td>閉止キャップ厚さ</td><td>mm</td></tr><tr><td>管 台 内 径</td><td>mm</td></tr><tr><td>管 台 厚 さ</td><td>mm</td></tr><tr><td>セーフエンド内径*30</td><td>mm</td></tr><tr><td>セーフエンド厚さ*31</td><td>mm</td></tr><tr><td>管 台 内 径</td><td>mm</td></tr><tr><td>管 台 厚 さ</td><td>mm</td></tr><tr><td>セーフエンド内径*30</td><td>mm</td></tr><tr><td>セーフエンド厚さ*31</td><td>mm</td></tr></table>			変 更 前		変更後	主 要 管 台・ セ ー フ エ ン ド 寸 法	恒心スプレイ ノ ズ ル （ N 5 ） *18 上鏡スプレイ ノ ズ ル （ N 6 ） *20 ベントノズル （ N 7 ） *21 ジェットポンプ 計測管貫通部 ノズル (N8) *22 制御梯駆動水 戻りノズル （ N 9 ） *24 差圧検出・ ほう酸水注入管 ノ ズ ル （ N 1 0 ） *26 計装ノズル (N11, N16) *27 計装ノズル （ N 1 2 ） *29	管 台 内 径	mm	変更 なし	管 台 厚 さ	mm	セーフエンド内径*30	mm	セーフエンド厚さ*31	mm	管 台 内 径*30	mm	管 台 厚 さ*31	mm	管 台 内 径	mm	管 台 厚 さ	mm	セーフエンド内径*30	mm	セーフエンド厚さ*31	mm	閉止キャップ内径	mm	閉止キャップ厚さ	mm	管 台 内 径	mm	管 台 厚 さ	mm	セーフエンド内径*30	mm	セーフエンド厚さ*31	mm	管 台 内 径	mm	管 台 厚 さ	mm	セーフエンド内径*30	mm	セーフエンド厚さ*31	mm	88 kg/cm ² g×0. 0980665 ＝8. 629MPa	
		変 更 前		変更後																																																
主 要 管 台・ セ ー フ エ ン ド 寸 法	恒心スプレイ ノ ズ ル （ N 5 ） *18 上鏡スプレイ ノ ズ ル （ N 6 ） *20 ベントノズル （ N 7 ） *21 ジェットポンプ 計測管貫通部 ノズル (N8) *22 制御梯駆動水 戻りノズル （ N 9 ） *24 差圧検出・ ほう酸水注入管 ノ ズ ル （ N 1 0 ） *26 計装ノズル (N11, N16) *27 計装ノズル （ N 1 2 ） *29	管 台 内 径	mm	変更 なし																																																
		管 台 厚 さ	mm																																																	
		セーフエンド内径*30	mm																																																	
		セーフエンド厚さ*31	mm																																																	
		管 台 内 径*30	mm																																																	
		管 台 厚 さ*31	mm																																																	
		管 台 内 径	mm																																																	
		管 台 厚 さ	mm																																																	
	セーフエンド内径*30	mm																																																		
	セーフエンド厚さ*31	mm																																																		
	閉止キャップ内径	mm																																																		
	閉止キャップ厚さ	mm																																																		
	管 台 内 径	mm																																																		
	管 台 厚 さ	mm																																																		
	セーフエンド内径*30	mm																																																		
	セーフエンド厚さ*31	mm																																																		
	管 台 内 径	mm																																																		
	管 台 厚 さ	mm																																																		
	セーフエンド内径*30	mm																																																		
	セーフエンド厚さ*31	mm																																																		

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																																													
		<div>(続き)</div> <table><tr><th colspan="6"></th><th>変 更 前</th><th>変更後</th></tr><tr><td rowspan="10">主 要 部 寸 法</td><td rowspan="6">管 セ ー フ エ ン ド</td><td rowspan="3">ド レ ン ズ (N15) *31</td><td colspan="2">管 台 内 径</td><td>mm</td><td rowspan="10"><div></div></td><td rowspan="10"></td></tr><tr><td colspan="2">管 台 厚 さ</td><td>mm</td></tr><tr><td colspan="2">セーフエンド内径 *32</td><td>mm</td></tr><tr><td rowspan="3">低 圧 注 水 ノ ズ ル (N17) *33</td><td colspan="2">セーフエンド厚さ *33</td><td>mm</td></tr><tr><td colspan="2">管 台 内 径</td><td>mm</td></tr><tr><td colspan="2">管 台 厚 さ</td><td>mm</td></tr><tr><td rowspan="4">スタッドボルト</td><td rowspan="2">呼び 径</td><td colspan="2">ナット側</td><td>mm</td></tr><tr><td colspan="2">埋 込 み 側</td><td>mm</td></tr><tr><td colspan="2">本 数</td><td colspan="2">—</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="2">内張り厚さ</td><td colspan="2">円 筒 部*36</td><td>mm</td></tr><tr><td colspan="2">下 部 鏡 板 部*37</td><td>mm</td></tr><tr><td rowspan="16">材 料</td><td colspan="2">胴</td><td>板</td><td>—</td><td colspan="2">— SOW2A 相当*1</td><td rowspan="16">変 更 な し</td></tr><tr><td colspan="2">上 部</td><td>鏡 板</td><td>—</td><td colspan="2">— SOW2A 相当*1</td></tr><tr><td colspan="2">下 部</td><td>鏡 板</td><td>—</td><td colspan="2">— SOW2A 相当*1</td></tr><tr><td colspan="2">鏡 板 フ ラ ン ジ</td><td>—</td><td colspan="2">— SFVQ2A 相当*1</td></tr><tr><td colspan="2">胴 板 フ ラ ン ジ</td><td>—</td><td colspan="2">— SFVQ2A 相当*1</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="4">管</td><td rowspan="4">台*38</td><td>—</td><td colspan="2">— SFVQ2A 相当*1</td></tr><tr><td>—</td><td colspan="2">— NCF600 相当*1</td></tr><tr><td>—</td><td colspan="2">— SFVC2B 相当*1</td></tr><tr><td>—</td><td colspan="2">— SFVC2B 相当*1</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="3">セ ー フ エ ン ド *39</td><td rowspan="3">—</td><td>—</td><td colspan="2">— SFVC2B 相当*1</td></tr><tr><td>—</td><td colspan="2">— SUSF304 相当*1</td></tr><tr><td>—</td><td colspan="2">—</td></tr></table>							変 更 前	変更後	主 要 部 寸 法	管 セ ー フ エ ン ド	ド レ ン ズ (N15) *31	管 台 内 径		mm	<div></div>		管 台 厚 さ		mm	セーフエンド内径 *32		mm	低 圧 注 水 ノ ズ ル (N17) *33	セーフエンド厚さ *33		mm	管 台 内 径		mm	管 台 厚 さ		mm	スタッドボルト	呼び 径	ナット側		mm	埋 込 み 側		mm	本 数		—		内張り厚さ		円 筒 部*36		mm	下 部 鏡 板 部*37		mm	材 料	胴		板	—	— SOW2A 相当*1		変 更 な し	上 部		鏡 板	—	— SOW2A 相当*1		下 部		鏡 板	—	— SOW2A 相当*1		鏡 板 フ ラ ン ジ		—	— SFVQ2A 相当*1		胴 板 フ ラ ン ジ		—	— SFVQ2A 相当*1		管		台*38	—	— SFVQ2A 相当*1		—	— NCF600 相当*1		—	— SFVC2B 相当*1		—	— SFVC2B 相当*1		セ ー フ エ ン ド *39		—	—	— SFVC2B 相当*1		—	— SUSF304 相当*1		—	—		ハ(4)(i)-④	
						変 更 前	変更後																																																																																																										
主 要 部 寸 法	管 セ ー フ エ ン ド	ド レ ン ズ (N15) *31	管 台 内 径		mm	<div></div>																																																																																																											
			管 台 厚 さ		mm																																																																																																												
			セーフエンド内径 *32		mm																																																																																																												
		低 圧 注 水 ノ ズ ル (N17) *33	セーフエンド厚さ *33		mm																																																																																																												
			管 台 内 径		mm																																																																																																												
			管 台 厚 さ		mm																																																																																																												
	スタッドボルト	呼び 径	ナット側		mm																																																																																																												
			埋 込 み 側		mm																																																																																																												
		本 数		—																																																																																																													
		内張り厚さ		円 筒 部*36				mm																																																																																																									
下 部 鏡 板 部*37				mm																																																																																																													
材 料	胴		板	—	— SOW2A 相当*1		変 更 な し																																																																																																										
	上 部		鏡 板	—	— SOW2A 相当*1																																																																																																												
	下 部		鏡 板	—	— SOW2A 相当*1																																																																																																												
	鏡 板 フ ラ ン ジ		—	— SFVQ2A 相当*1																																																																																																													
	胴 板 フ ラ ン ジ		—	— SFVQ2A 相当*1																																																																																																													
	管		台*38	—	— SFVQ2A 相当*1																																																																																																												
				—	— NCF600 相当*1																																																																																																												
				—	— SFVC2B 相当*1																																																																																																												
				—	— SFVC2B 相当*1																																																																																																												
	セ ー フ エ ン ド *39		—	—	— SFVC2B 相当*1																																																																																																												
				—	— SUSF304 相当*1																																																																																																												
				—	—																																																																																																												

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考																																			
		<div>(続き)</div> <table><tr><th colspan="3"></th><th>変 更 前</th><th>変更後</th></tr><tr><td rowspan="3">材</td><td rowspan="3">スタッドボルト，ナット</td><td rowspan="3">—</td><td>SNB24-3 相当*7</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td>SNB24-4 相当*7</td></tr><tr><td rowspan="2">料</td><td>円筒部</td><td>—</td><td>ステンレス鋼*8</td><td rowspan="4">ハ(4)(i)−④</td></tr><tr><td>下部鏡板部</td><td>—</td><td>高ニッケル合金*4b</td></tr><tr><td rowspan="2">個</td><td>数</td><td>—</td><td>1</td></tr><tr><td>種</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">監視試験片</td><td>初装荷個数</td><td>—</td><td></td><td rowspan="2">変更なし</td></tr><tr><td>取付箇所</td><td>—</td><td></td></tr></table> <div>注記 *1：公称値を示す。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には原子炉压力容器内のりの値である□と記載。記載内容は，設計図書による。 *3：原子炉压力容器零レベルからベントノズル内面までの寸法を示す。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には原子炉压力容器内のりの値である□と記載。記載内容は，設計図書による。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚」と記載。 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒部」と記載。 *7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。 *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N1 ノズル」と記載。 *9：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-6 再循環水出口ノズルの強度計算書」による。 *10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ノズル内径」と記載。 *11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ノズル板厚」と記載。 *12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N2 ノズル」と記載。 *13：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-7 再循環系入口ノズルの強度計算書」による。 *14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N3 ノズル」と記載。 *15：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-8 蒸気出口ノズルの強度計算書」による。 *16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N4 ノズル」と記載。</div>				変 更 前	変更後	材	スタッドボルト，ナット	—	SNB24-3 相当*7			SNB24-4 相当*7	料	円筒部	—	ステンレス鋼*8	ハ(4)(i)−④	下部鏡板部	—	高ニッケル合金*4b	個	数	—	1	種	—		監視試験片	初装荷個数	—		変更なし	取付箇所	—			
			変 更 前	変更後																																			
材	スタッドボルト，ナット	—	SNB24-3 相当*7																																				
			SNB24-4 相当*7																																				
料	円筒部	—	ステンレス鋼*8	ハ(4)(i)−④																																			
	下部鏡板部	—	高ニッケル合金*4b																																				
個	数	—	1																																				
	種	—																																					
監視試験片	初装荷個数	—		変更なし																																			
	取付箇所	—																																					

設置変更許可申請書（本文）	設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項	工事の計画 該当事項	整合性	備考
		<p>※17：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-9 給水ノズルの強度計算書」による。</p> <p>※18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N5 ノズル」と記載。</p> <p>※19：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-10 炉心スプレイノズル（N5）の強度計算書」による。</p> <p>※20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N6 ノズル」と記載。</p> <p>※21：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N7 ノズル」と記載。</p> <p>※22：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N8 ノズル」と記載。</p> <p>※23：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-17 ジェットボンプ計測ノズル（N8）の強度計算書」による。</p> <p>※24：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N9 ノズル」と記載。</p> <p>※25：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和52年9月22日付け52資庁第10471号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅳ-1-4 制御棒駆動水戻りノズルの強度計算書」による。</p> <p>※26：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N10 ノズル」と記載。</p> <p>※27：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N11 ノズル」、「N16 ノズル」と記載。</p> <p>※28：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-18 円筒胴計測ノズルの強度計算書」による。</p> <p>※29：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N12 ノズル」と記載。</p> <p>※30：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成16年1月9日付け発室発第163号にて届け出した工事計画の添付書類「Ⅳ-2-1-2 計測（N12）ノズルの応力計算書」による。</p> <p>※31：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N15 ノズル」と記載。</p> <p>※32：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-19 ドレンノズルの強度計算書」による。</p> <p>※33：記載の適正化を行う。既工事計画書には「N17 ノズル」と記載。</p> <p>※34：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和50年10月6日付け50資庁第8314号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-13 低圧注水ノズルの強度計算書」による。</p> <p>※35：記載の適正化を行う。既工事計画書にはシャンク部の寸法である「146」と記載。記載内容は、設計図書による。</p> <p>※36：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板内面部分」と記載。</p> <p>※37：記載の適正化を行う。既工事計画書には「貫通孔のある部分」と記載。</p> <p>※38：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ノズル」と記載。</p> <p>※39：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ノズルセーフエンド」と記載。</p> <p>※40：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SFA5.9 ER309、SFA5.9 ER308L」と記載。</p> <p>※41：記載の適正化を行う。既工事計画書には「引張試験片、衝撃試験片」と記載。</p> <p>※42：記載の適正化を行う。既工事計画書には「引張試験片 []、衝撃試験片 []」と記載。</p> <p>※43：記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載。</p> <p>※44：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心スプレイ系、低圧炉心スプレイ系、原子炉隔離時冷却系、低圧注水系、ほう酸水注入系、高圧代替注水系、低圧代替注水系、代替循環冷却系）、計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系、代替循環冷却系、高圧代替注水系、低圧代替注水系）と兼用する。</p> <p>※45：記載の適正化を行う。既工事計画書には [] と記載。</p>		

設置変更許可申請書（本文）		設置変更許可申請書（添付書類八）該当事項		工事の計画　該当事項		整　合　性		備　考	
<div>(5)　放射線遮蔽体の構造</div> <div>主要な放射線遮蔽体は、ドライウエル外周の壁、原子炉建屋外壁である。</div>				<div>【放射線管理施設】（要目表）</div> <div>3. 生体遮蔽装置（一次遮蔽、二次遮蔽、補助遮蔽、中央制御室遮蔽、原子炉遮蔽並びに緊急時制御室及び緊急時対策所において従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。使用済燃料運搬用容器の放射線遮蔽材、使用済燃料貯蔵用容器の放射線遮蔽材、放射性廃棄物運搬用容器の放射線遮蔽材及び一時的に設置するものを除く。）の名称、種類、主要寸法、冷却方法及び材料</div>		<div>設置変更許可申請書（本文）の「ドライウエル外周の壁」は、本工事計画の対象外である。</div> <div>工事の計画の「二次遮蔽」は、設置変更許可申請書（本文）の「原子炉建屋外壁」と同一設備であり整合している。</div>			
<div>(6)　その他の主要な事項</div> <div>なし</div>									